

- ◆ MUFGは、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、グループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」を策定・公表しております。
- ◆ 本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、商品・サービスのさらなる向上に取り組み、その取組状況を定期的に公表しております。
- ◆ 当資料では、主に個人投資家の皆さま向けに、MUFGグループ各社の2018年度の取組状況、2019年度のアクションプランを具体的な指標（KPI）とあわせて取り纏めております。

## MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針

行動規範 1-1	1.お客さま本位の徹底	P 3 ~ 5
誠実な行動	2.お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供	P 6
	3.お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践	P 7 ~ 27
	4.多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備	P 28 ~ 32
行動規範 1-2	5.お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化	P 33 ~ 34
品質の追求	6.資産運用を支える資産総合管理サービスの品質向上	P 35
	7.グループ総合力を活用した金融サービスの提供	P 36
行動規範 1-3	8.快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備	P 37 ~ 39
期待を超えるサービスの提供	9.プロフェッショナルリズムの発揮	P 40 ~ 41

- ◆ 2018年度の取組状況、2019年度のアクションプランおよび具体的な指標（KPI）を策定・公表しているグループ各社は、以下の通りです。

## グループ各社の担う主な機能・役割

販売	商品開発・運用	資産管理
三菱UFJ銀行 (銀行)		
三菱UFJ信託銀行 (信託)		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (証券)		
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券 (PB証券)		
カブドットコム証券 (カブコム)		
	三菱UFJ国際投信 (MUKAM)	
	エム・ユー投資顧問 (MUI)	
		日本マスタートラスト信託銀行 (MTBJ)

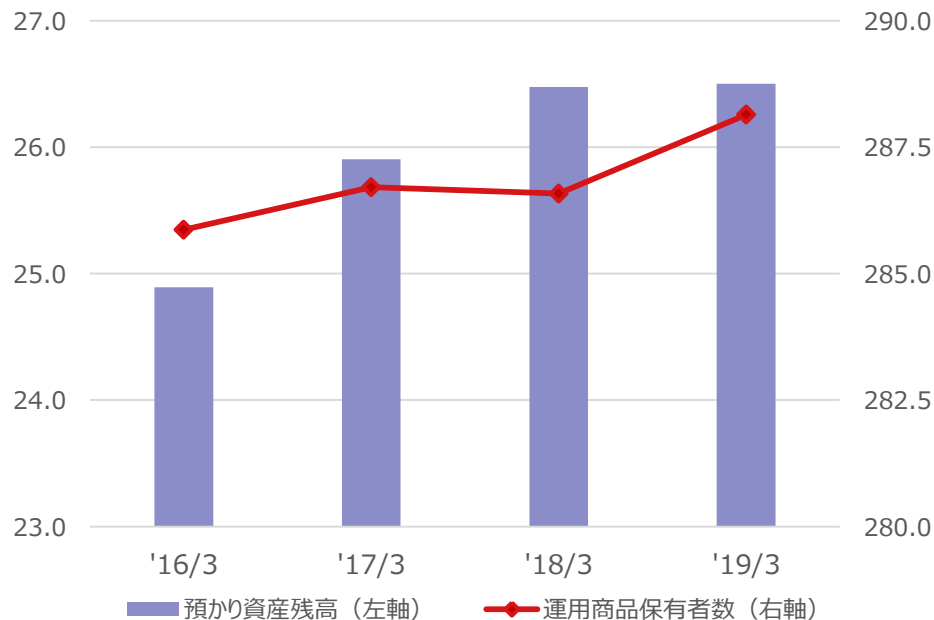
( ) は当資料におけるグループ各社の略称

## 1. お客さま本位の徹底

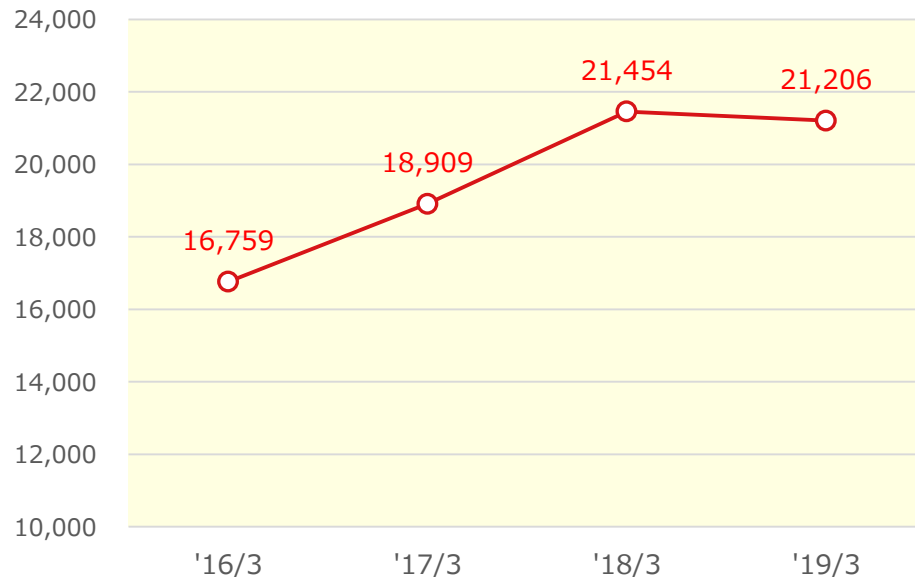
社会的責任の重さを一人ひとりが十分に認識し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さま本位の業務を徹底してまいります。

◆ 中長期・資産分散型の提案を中心とした取り組みに加え、足元の市況の変化による時価要因の影響もあり、MUFGとしての預かり資産残高、運用商品保有者数は増加傾向となっております。

預かり資産残高（兆円）、運用商品保有者数（万人）<sup>1</sup> MUFG<sup>2</sup>



<ご参考> 日経平均株価終値推移（円）

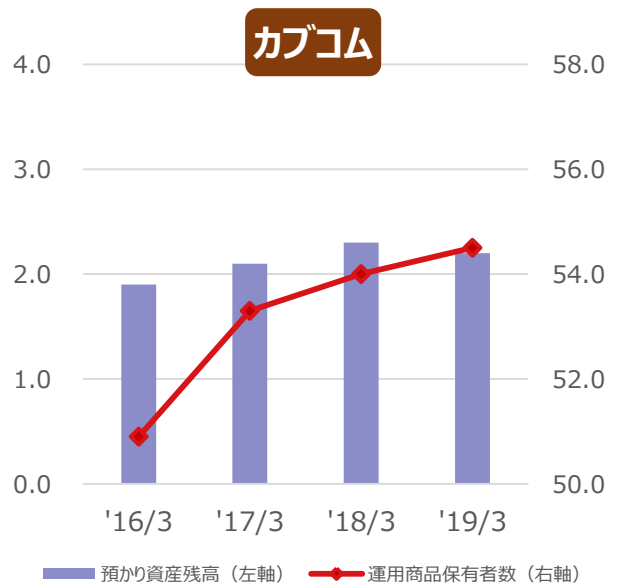
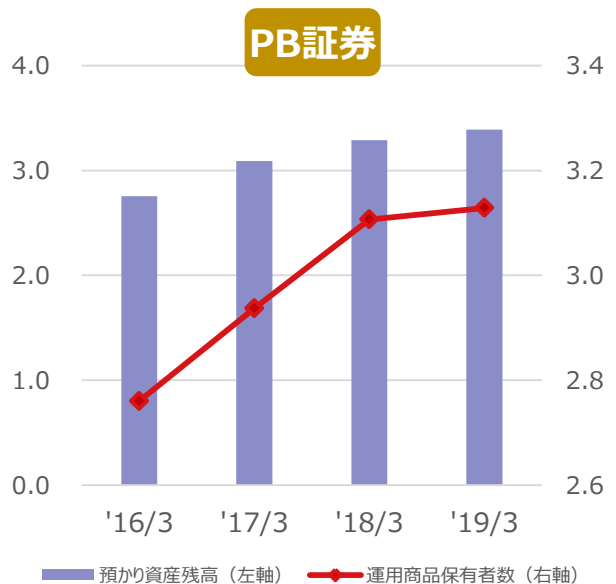
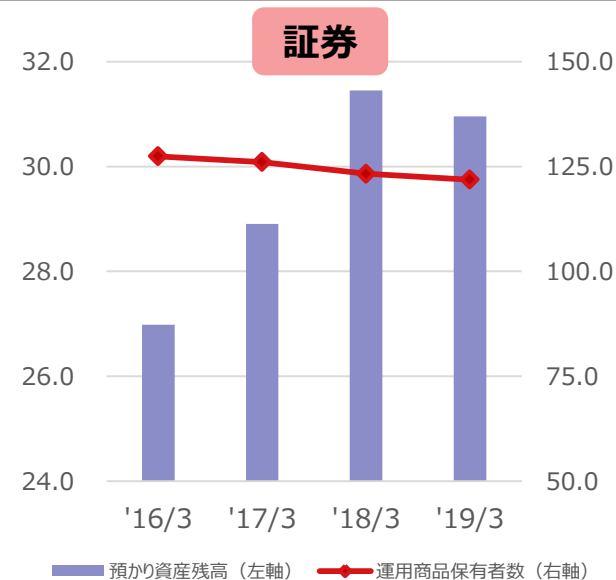
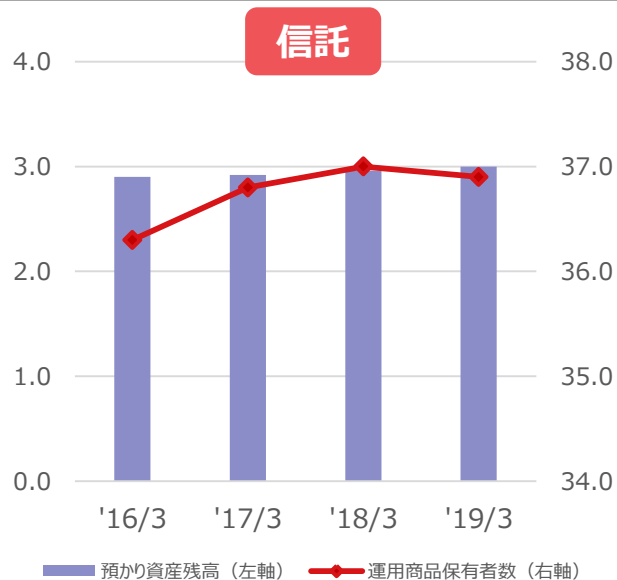
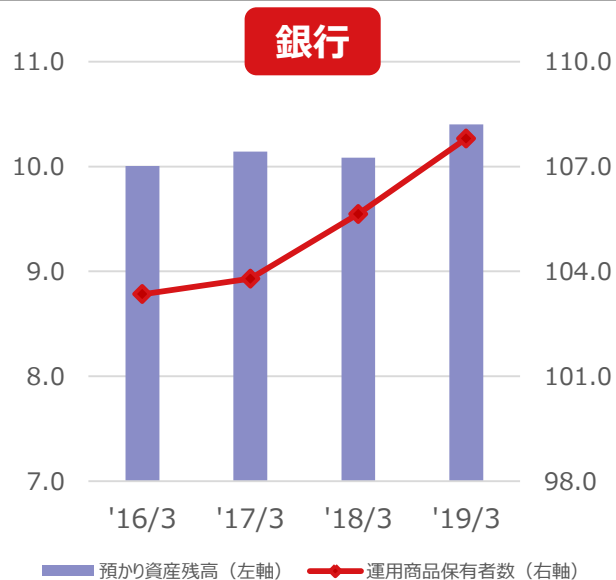


※1. 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース

※2. 対象範囲は、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券、カブドットコム証券

# 行動規範1-1 誠実な行動

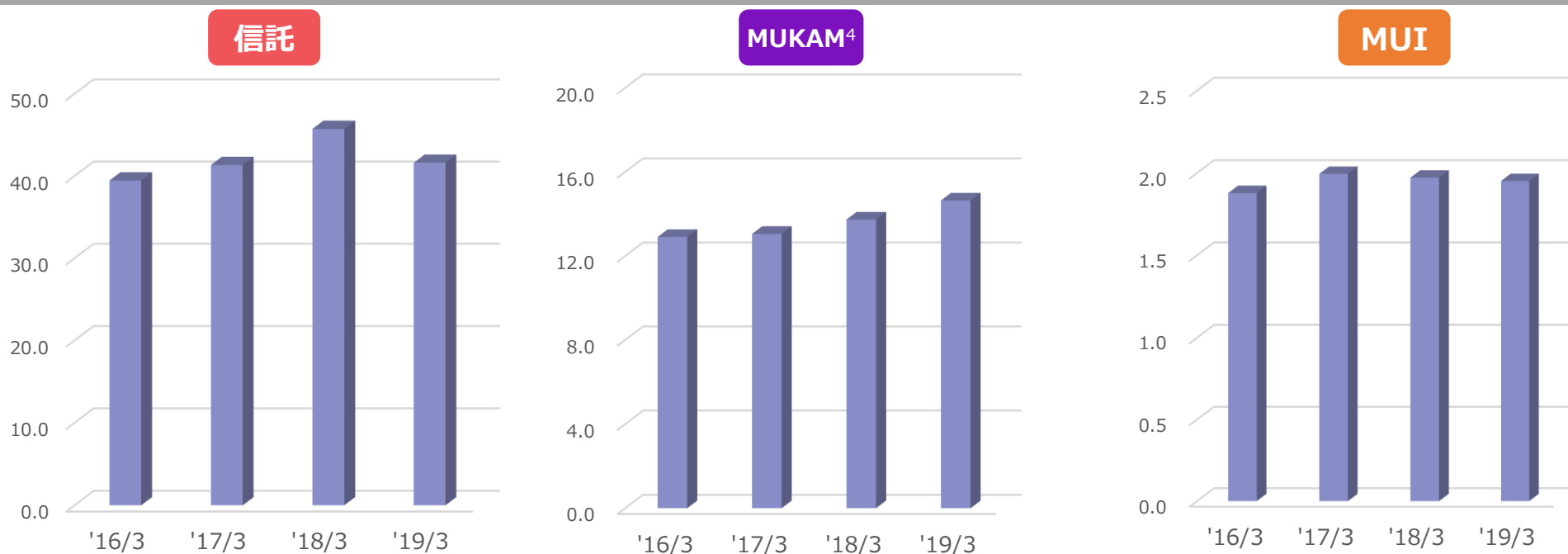
預かり資産残高（兆円）、運用商品保有者数（万人）<sup>3</sup>



※3. 銀行・信託: 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース  
 証券: 個人・法人のお客さまの取引実績、管理会計ベース  
 (金融商品仲介口座含む)  
 PB証券: 個人・法人のお客さまの取引実績、管理会計ベース  
 カブコム: 個人・法人のお客さまの取引実績、管理会計ベース  
 (金融商品仲介口座含む)

- ◆ 信託銀行およびエム・ユー投資顧問(MUI)では、主に機関投資家のお客さまの中長期的な投資ニーズに応える商品を、三菱UFJ国際投信(MUKAM)では、主に個人のお客さまの資産形成に貢献する商品を開発・提供し、お預かりした資産の運用により、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指しています。
- ◆ お客さまからお預かりした運用資産は、受託者責任の下、専ら受益者の皆さまの利益に忠実に運用・管理し、中長期的な資産の成長に努めてまいります。

運用資産残高（兆円）



※4. 投資信託残高および投資顧問契約残高の合計

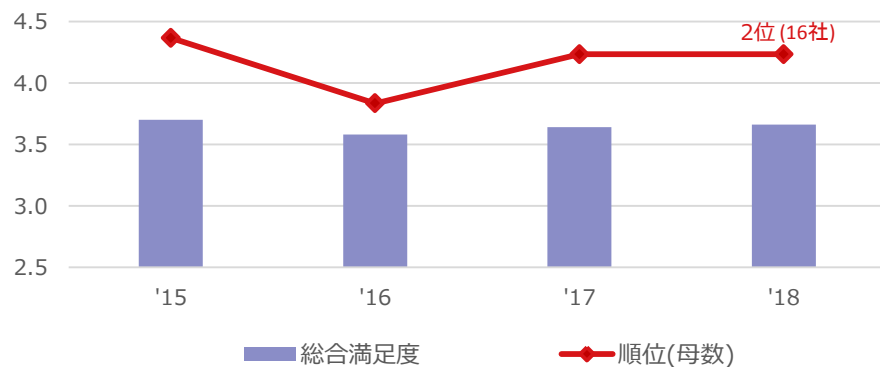
## 2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

常にお客さま本位で考え、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。

- ◆ 市場動向や、グローバル運用等のお客さまの多様なニーズに応えるため、自社運用に加えて、高い目利き力による外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- ◆ 引き続き、ご期待に応えられるよう、商品・サービスのさらなる向上を目指してまいります。

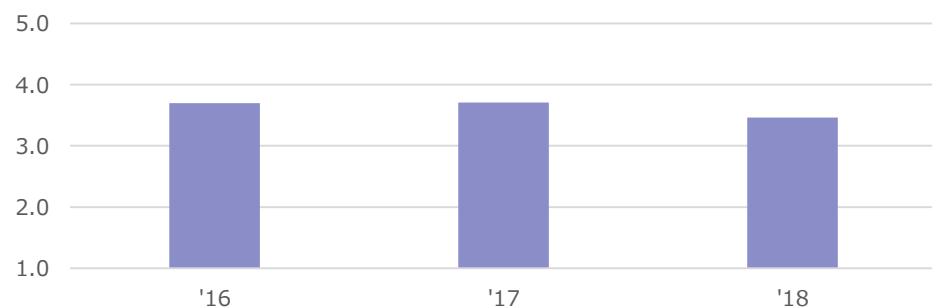
R&I社「年金顧客満足度アンケート」集計結果（総合満足度）<sup>5</sup>

信託



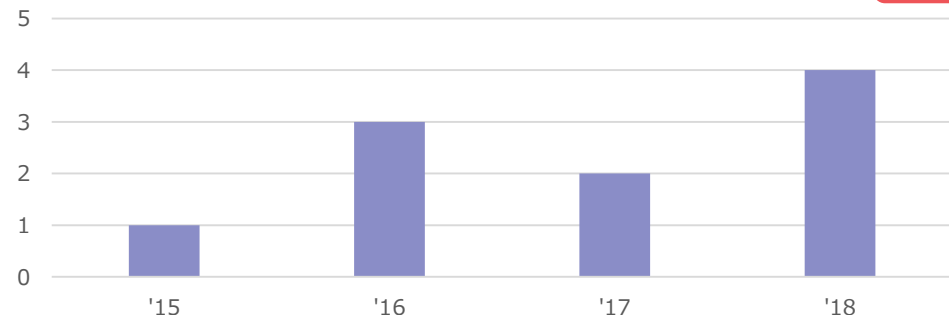
R&I社「投信会社満足度調査」集計結果（総合満足度）<sup>6</sup>

MUKAM



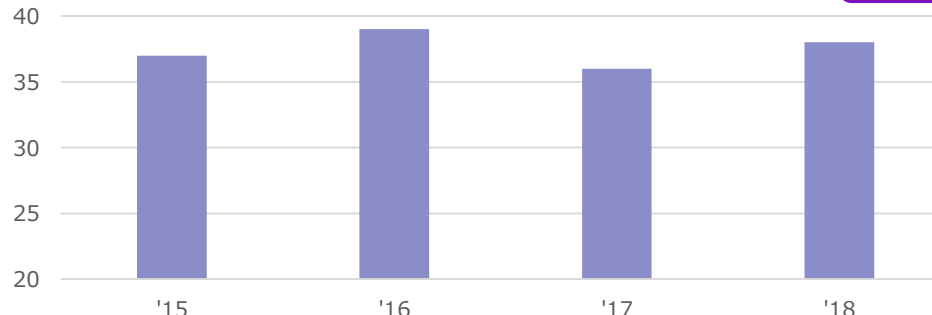
R&I ファンド大賞受賞本数（本）<sup>7</sup>

信託



ファンドアワード受賞本数（本）<sup>8</sup>

MUKAM



※5.総合満足度は、お客さまからの回答数30件以上の運用会社を対象とし、合計得点を回答数で割った平均得点（5点満点評価）。順位の母数は、お客さまからの回答数30件以上の運用会社

※6.三菱UFJ投信および国際投信投資顧問合併後の3期分、※7.2016年5月公表～2019年5月公表までの数値

※8.ファンドアワード受賞本数は、R&Iファンド大賞(R&I)、モーニングスターファンドオブザイヤー(モーニングスター)、リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ(リフィニティブ・ジャパン)、一億人の投信大賞(選定委員3名による運営)、投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year(投信プロガーによる運営委員会)の受賞合計

## 3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

### (1) お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

- お客さまの知識・経験・財産の状況およびお取引の目的に照らし、適切な商品をご提案してまいります。
- 市場動向やお客さまの運用状況等を踏まえ、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

### (2) お客さまの理解度に応じたきめ細かい情報提供

- 商品やリスクの内容、手数料および市場動向等の情報提供を拡充するとともに、わかりやすく丁寧にご説明してまいります。

### (3) お客さまの投資判断に資する手数料等の透明性向上

- 手数料等の透明性向上を図り、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧にご説明してまいります。

### (4) お客さま本位の取組みに適合した業績評価体系の整備

- お客さまの利益およびニーズに資する総合的な営業活動および取組内容を評価するために、業績評価体系を整備してまいります。

### (5) 投資教育への取組み

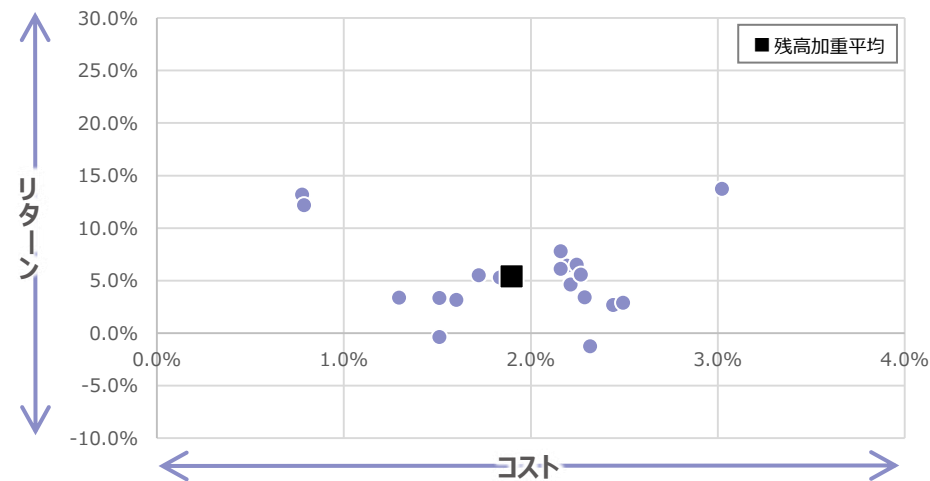
- 資産運用のノウハウを活用し、お客さまが「ライフプラン」や「資産形成」を考え、行動することをサポートする様々な投資教育の機会をご提供してまいります。

## ◆ 投資信託の残高上位20銘柄のコスト、リスクに対するリターンをお示しております。

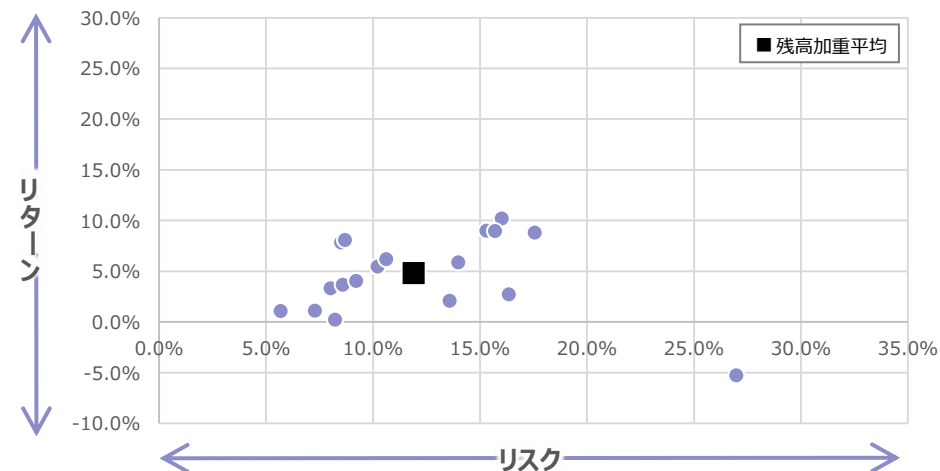
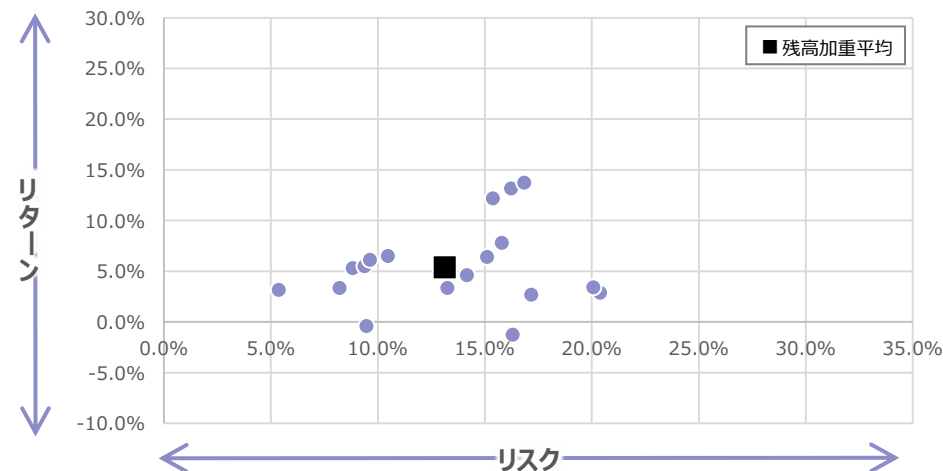
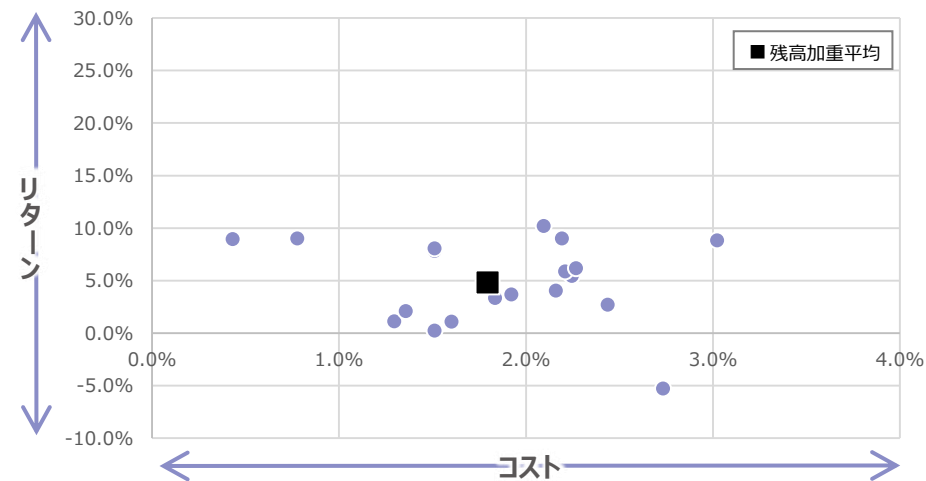
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄<sup>9</sup>のコスト/リスク・リターン<sup>10</sup>

銀行

【2018年3月】



【2019年3月】



※9. 2018年3月または2019年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

※10. コスト：販売手数料/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターン標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）



## 【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト/リスク・リターン

銀行

【2018年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.51%	9.47%	-0.41%
2	新光US-REITオープン	2.19%	15.12%	6.41%
3	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.84%	8.83%	5.29%
4	三菱UFJ インデックス225オープン	0.78%	16.24%	13.16%
5	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.44%	17.17%	2.67%
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25%	10.48%	6.48%
7	ニッセイ-REITファンド（毎月決算型）	1.51%	13.33%	3.27%
8	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	16.85%	13.71%
9	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	1.30%	8.21%	3.35%
10	トレンド・アロケーション・オープン	1.60%	5.38%	3.15%
11	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	14.17%	4.61%
12	インド債券オープン（毎月決算型）	2.27%	13.12%	5.54%
13	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.16%	15.80%	7.79%
14	三菱UFJ新興国高利回り社債ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.49%	20.40%	2.86%
15	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	13.26%	3.32%
16	フィデリティ・世界3資産・ファンド（毎月決算型）	1.72%	9.39%	5.48%
17	ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	2.16%	9.65%	6.11%
18	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.29%	20.08%	3.40%
19	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）	2.32%	16.31%	-1.29%
20	三菱UFJ TOPIX・ファンド	0.79%	15.38%	12.16%
	残高加重平均（■）	1.90%	13.13%	5.40%

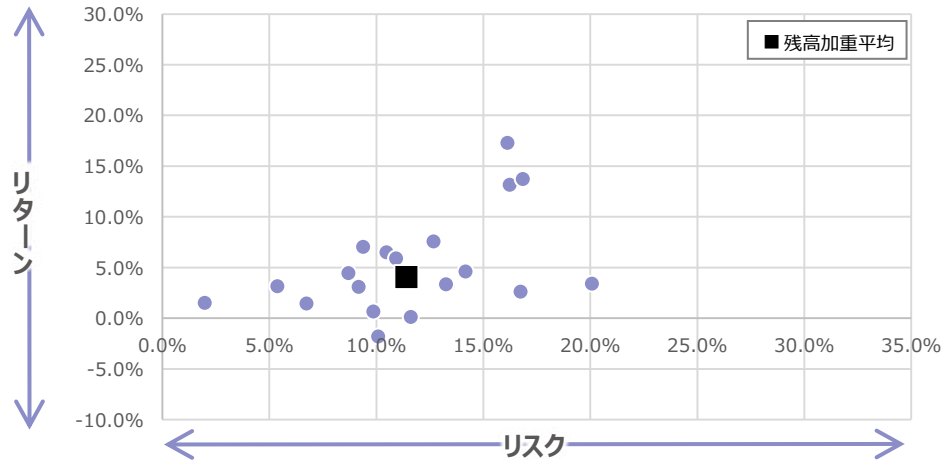
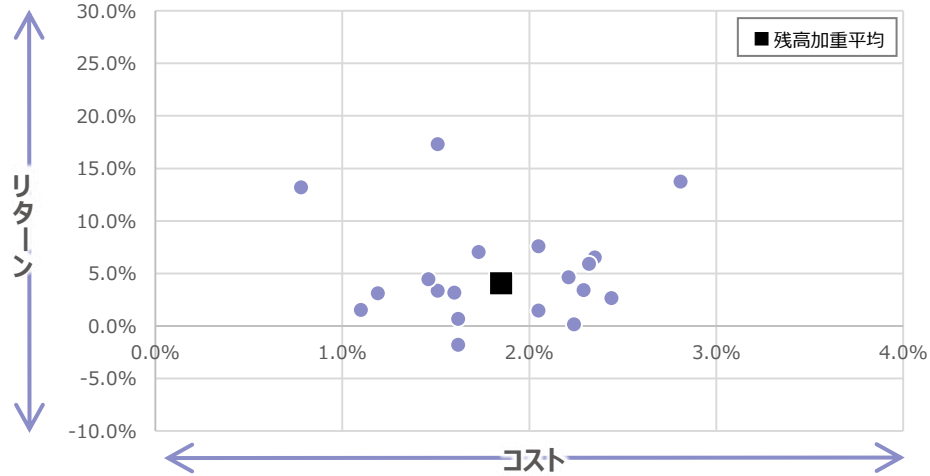
【2019年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ インデックス225オープン	0.78%	15.74%	8.98%
2	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.51%	8.23%	0.22%
3	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.84%	8.03%	3.31%
4	新光US-REITオープン	2.19%	15.30%	8.98%
5	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.44%	16.35%	2.69%
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25%	10.23%	5.44%
7	ニッセイ-REITファンド（毎月決算型）	1.51%	8.52%	7.81%
8	PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>（毎月分配型）	1.30%	7.30%	1.09%
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	17.56%	8.81%
10	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	1.30%	7.30%	1.09%
11	トレンド・アロケーション・オープン	1.60%	5.69%	1.07%
12	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	13.99%	5.87%
13	インド債券オープン（毎月決算型）	2.27%	10.62%	6.16%
14	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.10%	16.02%	10.18%
15	三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	8.69%	8.06%
16	eMAXIS 日経225インデックス	0.43%	15.72%	8.95%
17	米国エネルギー-MLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	2.73%	26.99%	-5.30%
18	フィデリティ・世界3資産・ファンド（毎月決算型）	1.92%	8.59%	3.65%
19	ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	2.16%	9.22%	4.02%
20	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）	1.36%	13.59%	2.07%
	残高加重平均（■）	1.79%	11.89%	4.83%

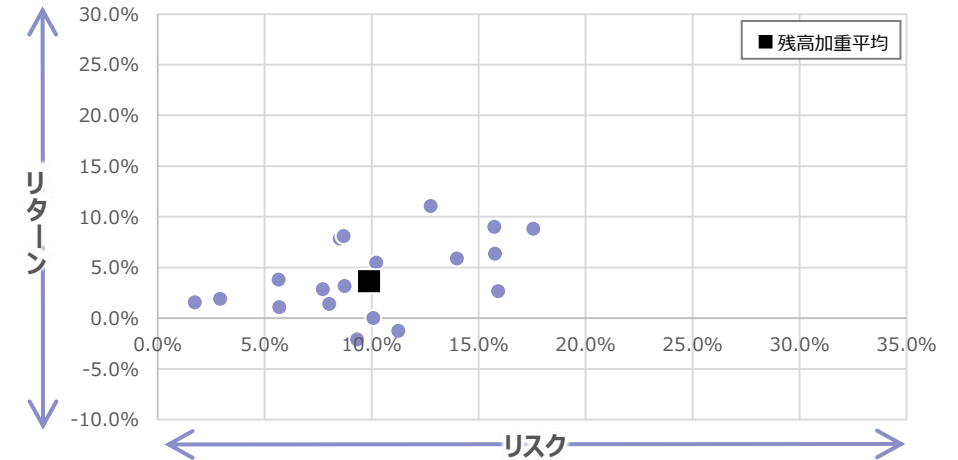
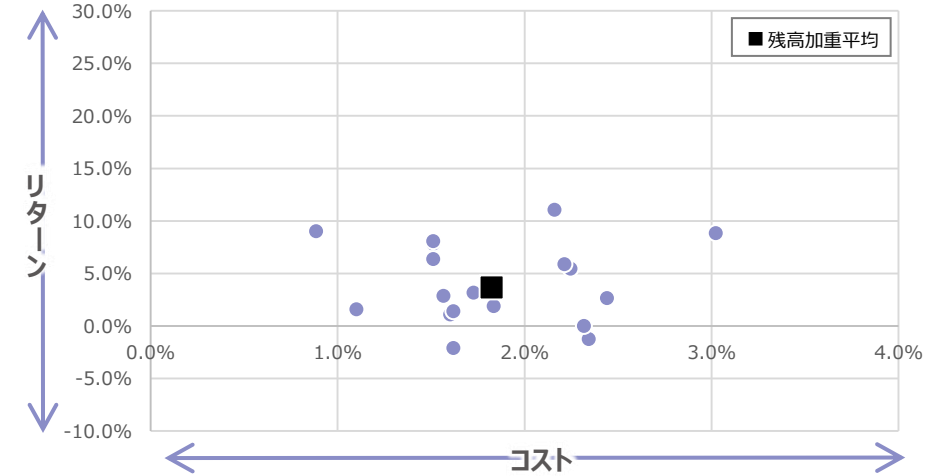
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄<sup>9</sup>のコスト/リスク・リターン<sup>10</sup>

信託

【2018年3月】



【2019年3月】



## 【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト/リスク・リターン<sup>11</sup>

【2018年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）	1.62%	9.87%	0.65%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.35%	10.48%	6.48%
3	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	14.17%	4.61%
4	豪ドル毎月分配型ファンド	1.62%	10.09%	-1.82%
5	ニッセイ J-REITファンド（毎月決算型）	1.51%	13.33%	3.27%
6	GSIマージング通貨債券ファンド	2.24%	11.62%	0.12%
7	トレンド・アロケーション・オープン	1.60%	5.38%	3.15%
8	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	13.26%	3.32%
9	優良日本株ファンド	1.51%	16.13%	17.30%
10	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.44%	16.74%	2.61%
11	東京海上・円建て投資適格債券ファンド（毎月決算型）	1.10%	1.99%	1.50%
12	三菱UFJインデックス225オープン	0.78%	16.24%	13.16%
13	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.05%	12.67%	7.57%
14	UBS公益・金融社債ファンド（為替ヘッジなし）	1.46%	8.70%	4.43%
15	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.81%	16.85%	13.71%
16	LM・米ドル毎月分配型ファンド	1.19%	9.17%	3.08%
17	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.29%	20.08%	3.40%
18	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	2.05%	6.74%	1.43%
19	欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	2.32%	10.92%	5.88%
20	三菱UFJバランスインカムオープン（毎月決算型）	1.73%	9.39%	7.02%
	残高加重平均（■）	1.85%	11.40%	4.05%
	【ご参考】MUFGファンドラップ（安定収益コース）	1.51%	3.21%	3.72%

【2019年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）	1.62%	8.03%	1.37%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25%	10.23%	5.44%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.62%	9.33%	-2.13%
4	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	13.99%	5.87%
5	ニッセイ J-REITファンド（毎月決算型）	1.51%	8.52%	7.81%
6	トレンド・アロケーション・オープン	1.60%	5.69%	1.07%
7	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.44%	15.92%	2.63%
8	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	8.69%	8.06%
9	優良日本株ファンド	1.51%	15.78%	6.35%
10	GSIマージング通貨債券ファンド	2.34%	11.25%	-1.28%
11	三菱UFJインデックス225オープン	0.89%	15.74%	8.98%
12	三菱UFJバランス・イノベーション（株式抑制型）	1.84%	2.92%	1.87%
13	三菱UFJバランス・イノベーション（株式重視型）	1.84%	5.66%	3.77%
14	東京海上・円建て投資適格債券ファンド（毎月決算型）	1.10%	1.74%	1.54%
15	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.16%	12.77%	11.03%
16	UBS公益・金融社債ファンド（為替ヘッジなし）	1.57%	7.72%	2.84%
17	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	17.56%	8.81%
18	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）	1.62%	8.03%	1.39%
19	三菱UFJバランスインカムオープン（毎月決算型）	1.73%	8.74%	3.13%
20	欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	2.32%	10.08%	-0.02%
	残高加重平均（■）	1.82%	9.88%	3.65%
	【ご参考】MUFGファンドラップ（安定収益コース）	1.50%	2.23%	1.98%

※11. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ、資産運用口座）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は契約者数が最も多い「安定収益追求コース」とする。

「金融庁 比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

①リスク、リターン：MUFGファンドラップは取扱いから5年未経過のため、安定収益追求コースと同様の手法で運用した場合のシミュレーションを使用。尚、当該リターンは以下の②コストを控除

②コスト：以下をコストとして定義

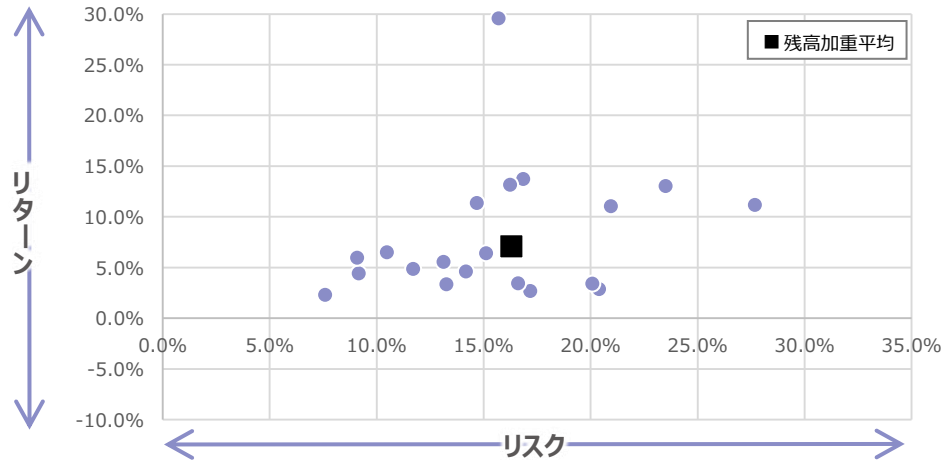
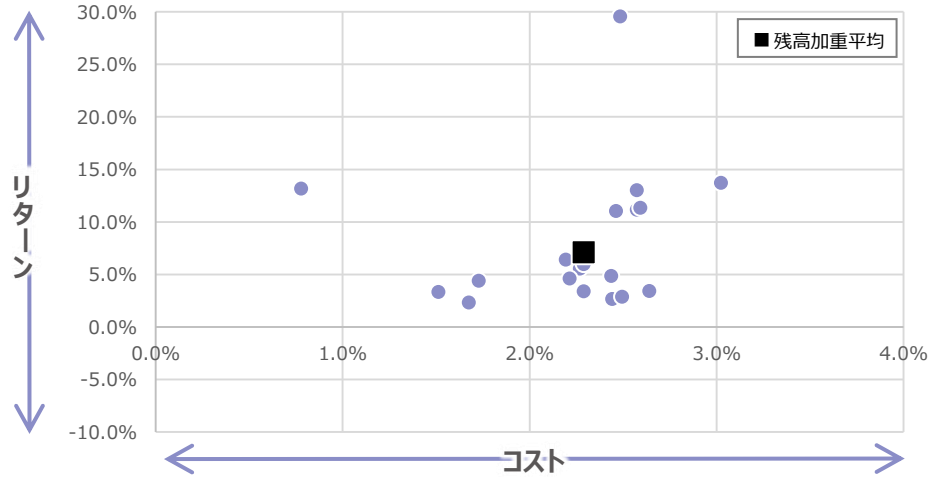
【信託報酬】シミュレーションをもとに、各資産の平均組み入れ比率を算出し、現在投資している投資信託の信託報酬を加重平均して算出

【投資一任報酬】固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は長期保有割引率70%を適用させ算出

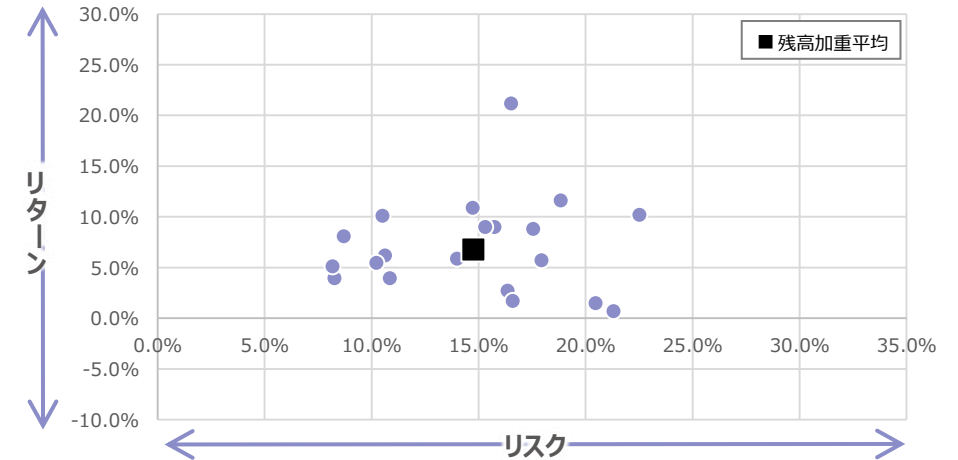
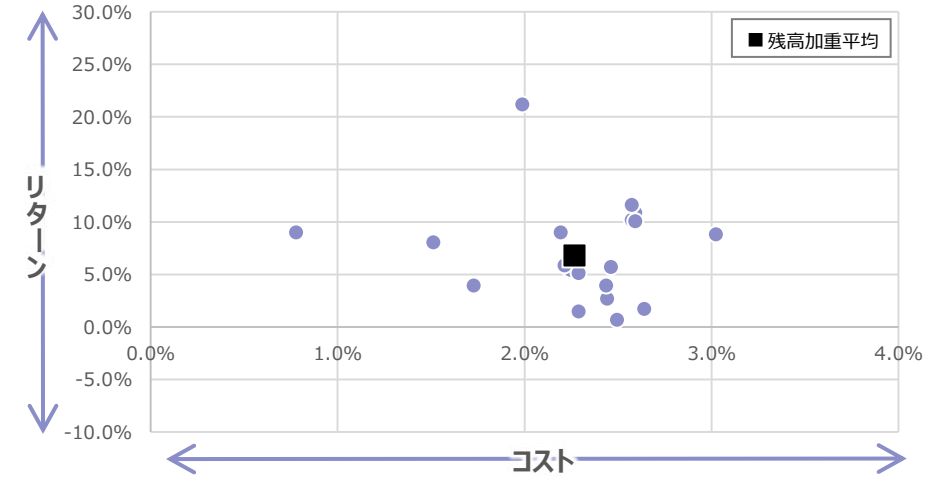
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄<sup>9</sup>のコスト/リスク・リターン<sup>10</sup>

証券

【2018年3月】



【2019年3月】



## 【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト/リスク・リターン

証券

【2018年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.44%	17.17%	2.67%
2	三菱UFJ新興国高利回り社債ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.49%	20.40%	2.86%
3	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.29%	20.08%	3.40%
4	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25%	10.48%	6.48%
5	インド債券オープン（毎月決算型）	2.27%	13.12%	5.54%
6	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.57%	27.67%	11.16%
7	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.57%	23.51%	13.03%
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.44%	11.70%	4.84%
9	日本株セレクション 成長株ジャパン・オープン	2.46%	20.94%	11.02%
10	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	14.17%	4.61%
11	ピクテ新興国インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.64%	16.60%	3.42%
12	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	13.26%	3.32%
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	16.85%	13.71%
14	新光US-REITオープン	2.19%	15.12%	6.41%
15	三菱UFJ インデックス225オープン	0.78%	16.24%	13.16%
16	ジャパニーズ・ドリーム・オープン	2.48%	15.70%	29.56%
17	三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド <為替ヘッジなし>（毎月決算型）	1.73%	9.16%	4.39%
18	グローバル・エマージング・ボンド・オープン（受取物語）	2.29%	9.08%	5.96%
19	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	2.59%	14.69%	11.36%
20	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.67%	7.59%	2.31%
	残高加重平均（■）	2.29%	16.30%	7.10%

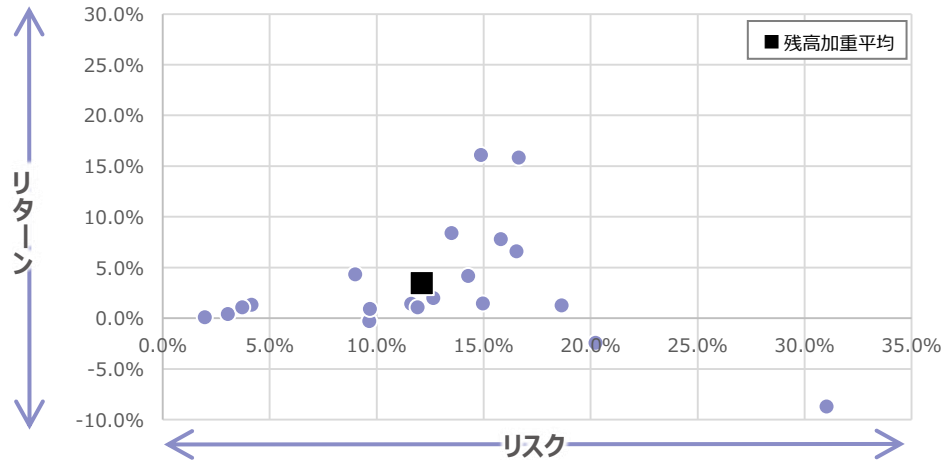
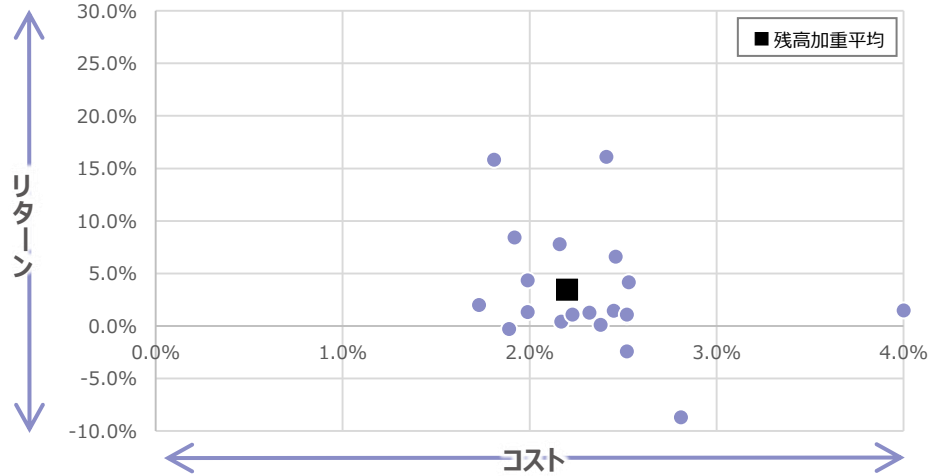
【2019年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.44%	16.35%	2.69%
2	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.44%	10.85%	3.95%
3	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	2.59%	14.73%	10.87%
4	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.57%	22.51%	10.18%
5	三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド <為替ヘッジなし>（毎月決算型）	1.73%	8.27%	3.93%
6	インド債券オープン（毎月決算型）	2.27%	10.62%	6.16%
7	三菱UFJ インデックス225オープン	0.78%	15.74%	8.98%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.25%	10.23%	5.44%
9	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	8.69%	8.06%
10	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.57%	18.83%	11.60%
11	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	13.99%	5.87%
12	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	1.99%	16.52%	21.18%
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	17.56%	8.81%
14	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.29%	20.46%	1.47%
15	新光US-REITオープン	2.19%	15.30%	8.98%
16	三菱UFJ新興国高利回り社債ファンド通貨選択シリーズ <ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2.49%	21.30%	0.68%
17	グローバル・エマージング・ボンド・オープン（受取物語）	2.29%	8.17%	5.11%
18	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジあり）	2.59%	10.50%	10.08%
19	日本株セレクション 成長株ジャパン・オープン	2.46%	17.94%	5.70%
20	ピクテ新興国インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.64%	16.59%	1.70%
	残高加重平均（■）	2.27%	14.75%	6.79%

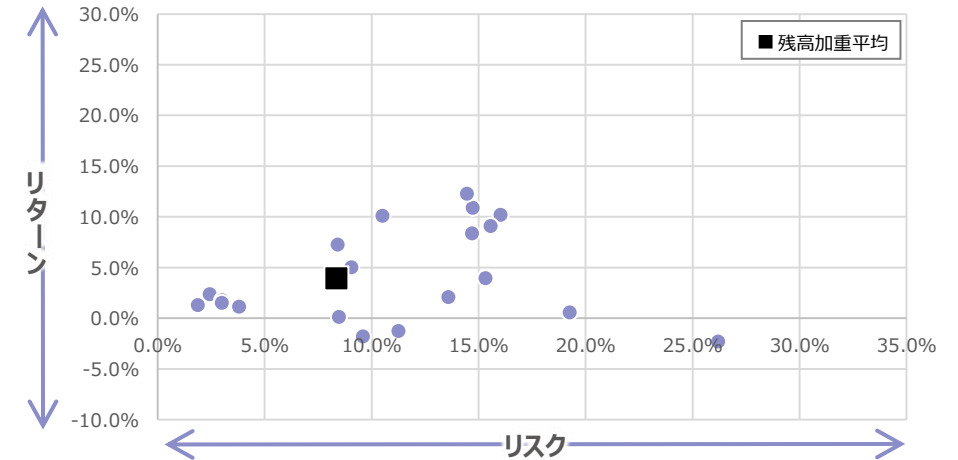
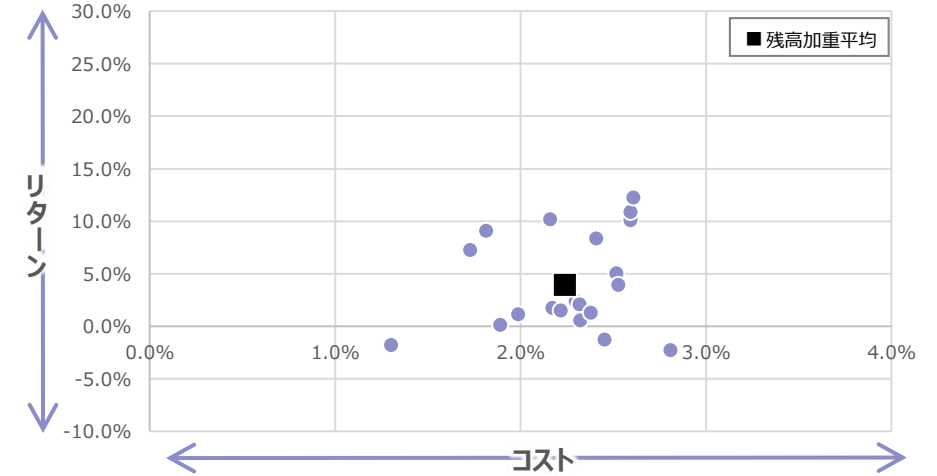
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄<sup>9</sup>のコスト/リスク・リターン<sup>10</sup>

PB証券

【2018年3月】



【2019年3月】



## 【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト/リスク・リターン

PB証券

【2018年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)	2.16%	15.80%	7.79%
2	DIAM J-REITオープン (毎月決算コース)	1.73%	12.64%	1.99%
3	LM・オーストラリア毎月分配型ファンド	1.89%	9.66%	-0.30%
4	GSバンク・キャピタル証券ファンド円クラス	2.17%	3.05%	0.39%
5	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	2.52%	9.69%	0.92%
6	GSエマージング通貨債券ファンド	2.45%	11.62%	1.42%
7	DWSグローバル公益債券ファンド (毎月分配型) Aコース (為替ヘッジあり)	1.99%	4.15%	1.31%
8	LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)	2.53%	14.28%	4.14%
9	ハイブリッドセレクション	1.81%	16.64%	15.82%
10	LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)	2.32%	18.64%	1.26%
11	ブラックロック欧州株式オープン	2.46%	16.53%	6.58%
12	ブラックロック日本小型株オープン	2.41%	14.87%	16.09%
13	GSオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド円クラス (為替ヘッジあり)	2.38%	1.97%	0.09%
14	ブラックロック世界好配当株株式オープン	1.92%	13.50%	8.40%
15	ブラックロック天然資源株ファンド	2.52%	20.22%	-2.44%
16	DIAMケイマン・トラストーAspectマネージド・フューチャーズ・ファンド円クラス	4.00%	14.96%	1.45%
17	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	2.52%	11.91%	1.07%
18	DWSグローバル公益債券ファンド (毎月分配型) Bコース (為替ヘッジなし)	1.99%	9.00%	4.32%
19	WAハイ・インカム社債ファンド円クラス	2.23%	3.72%	1.06%
20	ブラックロック・ゴールド・ファンド	2.81%	31.02%	-8.72%
	残高加重平均 (■)	2.20%	12.11%	3.45%

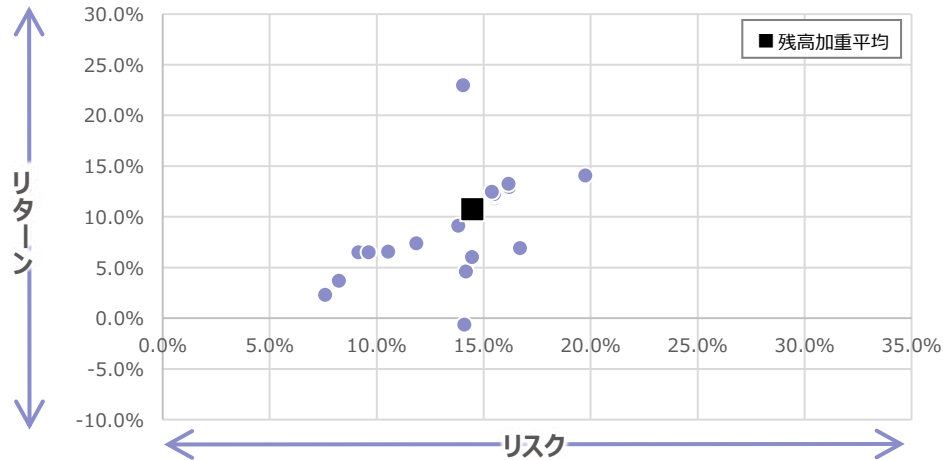
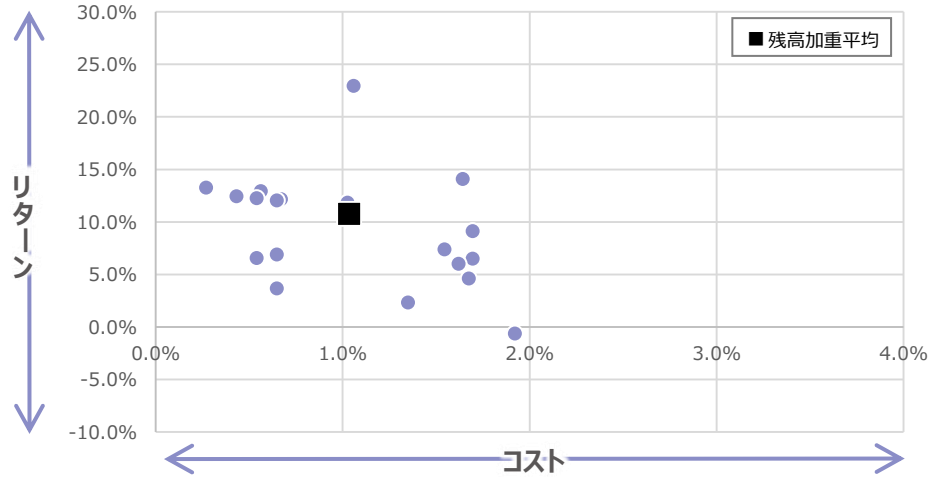
【2019年3月】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	PIMCOインカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	2.30%	2.43%	2.37%
2	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)	2.16%	16.02%	10.18%
3	イースト・インドネシア債券(毎月決算型)	2.32%	13.59%	2.07%
4	DIAM J-REITオープン (毎月決算コース)	1.73%	8.42%	7.26%
5	LM・オーストラリア毎月分配型ファンド	1.89%	8.48%	0.11%
6	GSバンク・キャピタル証券ファンド円クラス	2.17%	3.01%	1.75%
7	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	2.59%	10.50%	10.08%
8	GSエマージング通貨債券ファンド	2.45%	11.25%	-1.28%
9	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	3.00%	1.50%
10	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.59%	14.73%	10.87%
11	LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)	2.32%	19.26%	0.56%
12	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース	2.52%	9.06%	5.02%
13	DWSグローバル公益債券ファンド (毎月分配型) Aコース (為替ヘッジあり)	1.99%	3.80%	1.13%
14	ハイブリッド・セレクション	1.81%	15.56%	9.09%
15	国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドルピーコース (毎月決算型)	2.61%	14.45%	12.26%
16	LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	2.53%	15.32%	3.94%
17	ブラックロック日本小型株オープン	2.41%	14.70%	8.36%
18	GSオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド 円クラス (為替ヘッジあり)	2.38%	1.88%	1.28%
19	ピクテ・ゴールド	1.30%	9.60%	-1.80%
20	ブラックロック・ゴールド・ファンド	2.81%	26.20%	-2.30%
	残高加重平均 (■)	2.24%	8.36%	3.92%

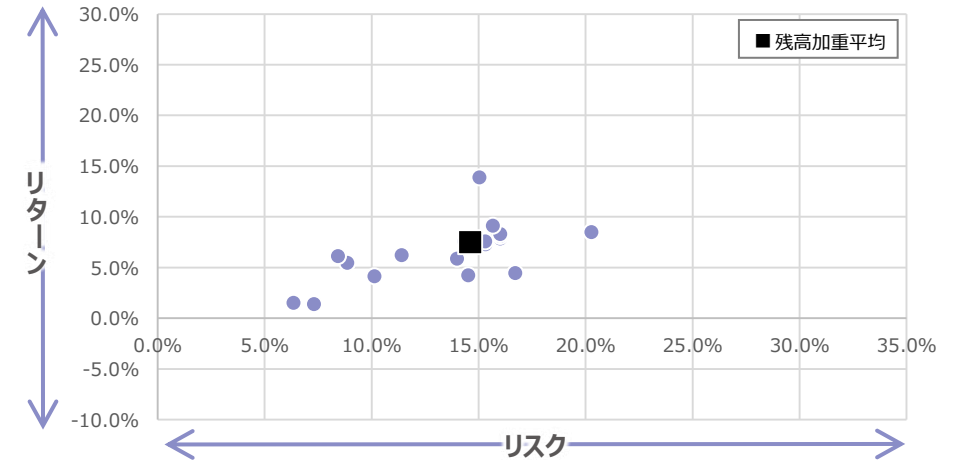
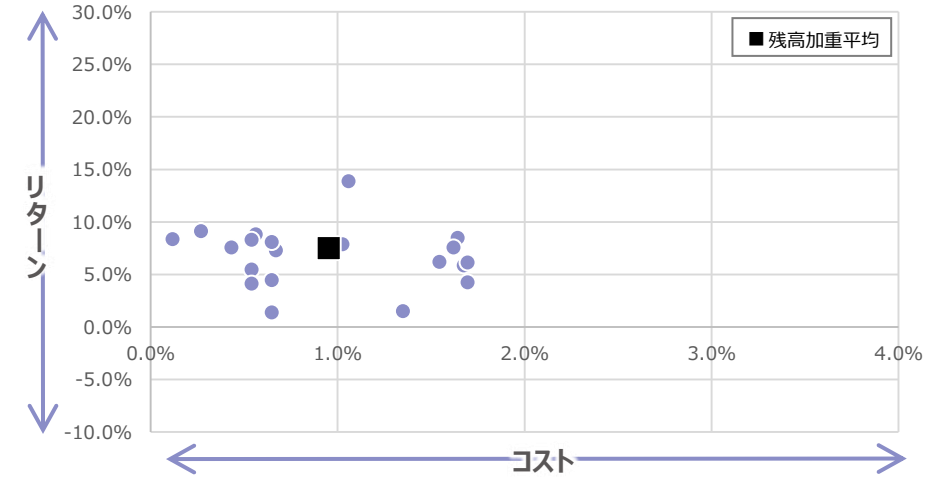
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄<sup>9</sup>のコスト/リスク・リターン<sup>10</sup>

カブコム

【2018年3月】



【2019年3月】





## 【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト/リスク・リターン

【2018年3月】

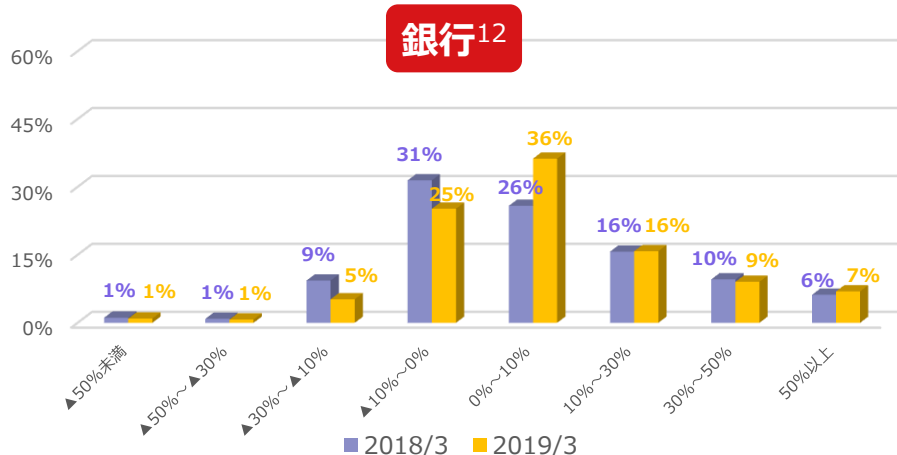
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ステート・ストリート外国株式インデックスオープン	1.03%	15.48%	11.84%
2	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	1.67%	14.17%	4.61%
3	ひふみプラス	1.06%	14.03%	22.96%
4	インデックスファンド225	0.56%	16.19%	12.92%
5	トピックスオープン	0.67%	15.39%	12.16%
6	eMAXIS 新興国株式インデックス	0.65%	16.70%	6.89%
7	ニッセイグローバル 好配当株式プラス (毎月決算型)	1.70%	13.82%	9.11%
8	eMAXIS 先進国株式インデックス	0.65%	15.47%	12.05%
9	SMT グローバル株式インデックス・オープン	0.54%	15.48%	12.25%
10	三菱UFJ チャイナオープン	1.64%	19.74%	14.08%
11	ニッセイ日経225インデックスファンド	0.27%	16.16%	13.25%
12	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.35%	7.59%	2.31%
13	eMAXIS バランス (8資産均等型)	0.54%	9.15%	6.49%
14	グローバル財産3分法ファンド (毎月決算型)	1.54%	11.85%	7.37%
15	好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	1.92%	14.10%	-0.63%
16	世界経済インデックスファンド	0.54%	10.54%	6.57%
17	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド (年1回決算型)	0.65%	8.24%	3.67%
18	エマージング・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.70%	9.63%	6.50%
19	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	1.62%	14.45%	6.01%
20	eMAXIS TOPIXインデックス	0.43%	15.38%	12.44%
	残高加重平均 (■)	1.04%	14.47%	10.76%

【2019年3月】

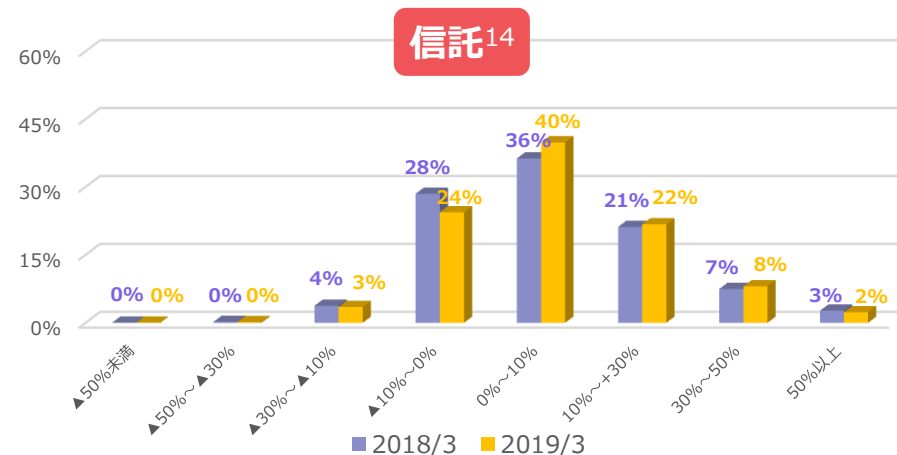
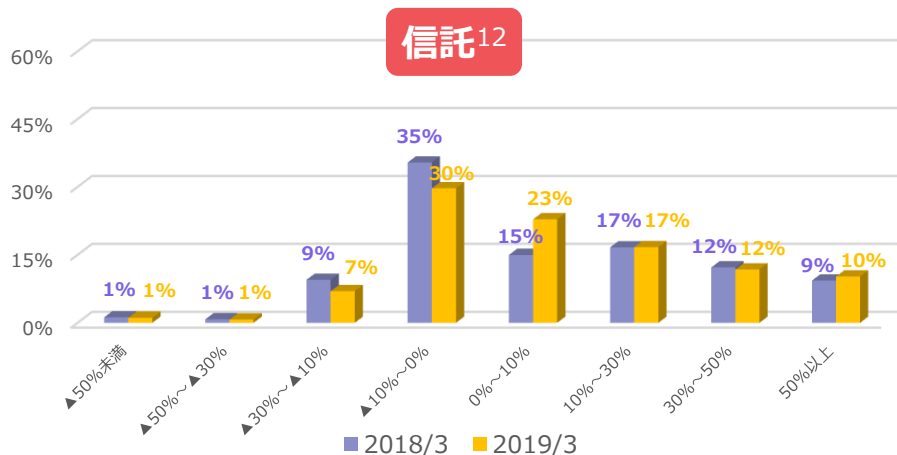
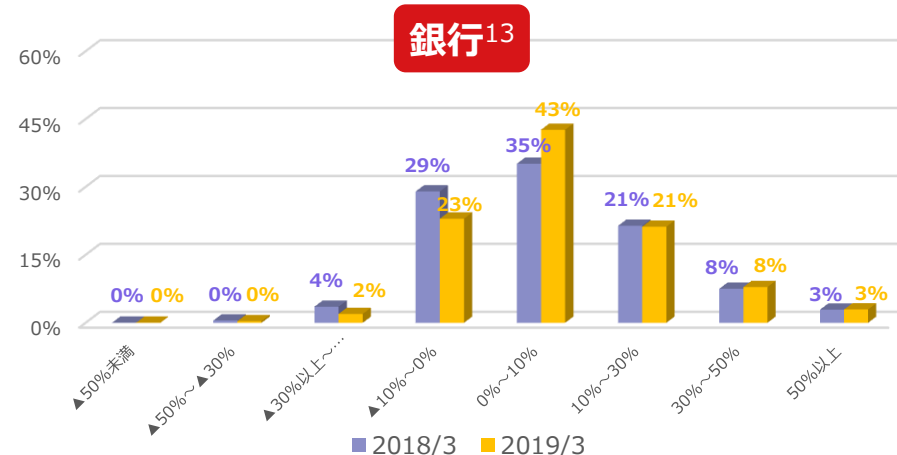
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン	1.03%	16.01%	7.86%
2	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	1.67%	14.00%	5.87%
3	ひふみプラス	1.06%	15.03%	13.87%
4	インデックスファンド225	0.56%	15.71%	8.80%
5	トピックスオープン	0.67%	15.32%	7.29%
6	eMAXIS 先進国株式インデックス	0.65%	16.00%	8.09%
7	eMAXIS 新興国株式インデックス	0.65%	16.71%	4.44%
8	<購入・換金手数料なし> ニッセイ 外国株式インデックスファンド	0.12%	15.91%	8.37%
9	SMT グローバル株式インデックス・オープン	0.54%	16.01%	8.28%
10	ニッセイグローバル 好配当株式プラス (毎月決算型)	1.70%	14.52%	4.23%
11	三菱UFJ チャイナオープン	1.64%	20.27%	8.48%
12	eMAXIS バランス (8資産均等型)	0.54%	8.86%	5.46%
13	ニッセイ日経225インデックスファンド	0.27%	15.67%	9.11%
14	グローバル財産3分法ファンド (毎月決算型)	1.54%	11.40%	6.20%
15	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.35%	6.34%	1.49%
16	世界経済インデックスファンド	0.54%	10.13%	4.13%
17	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド (年1回決算型)	0.65%	7.31%	1.38%
18	エマージング・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.70%	8.42%	6.12%
19	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	1.62%	14.34%	7.57%
20	eMAXIS TOPIXインデックス	0.43%	15.30%	7.55%
	残高加重平均 (■)	0.95%	14.61%	7.50%

## ◆ 投資信託・ファンドラップをご購入いただいたお客さまの運用損益状況をお示しております。

【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率



実現損益を含む投信運用損別顧客比率



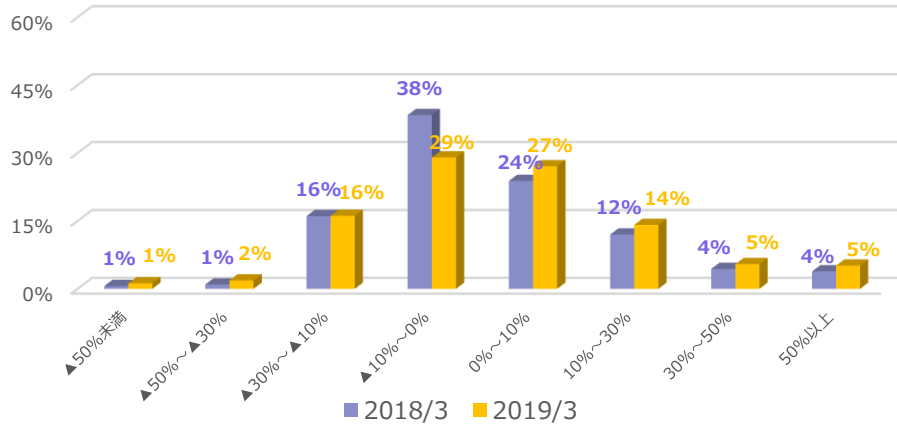
※12.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象

※13.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。窓販投信は2014年12月以降、金融商品仲介は2017年1月以降に売却または償還となった実現損益が対象

※14.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2006年6月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

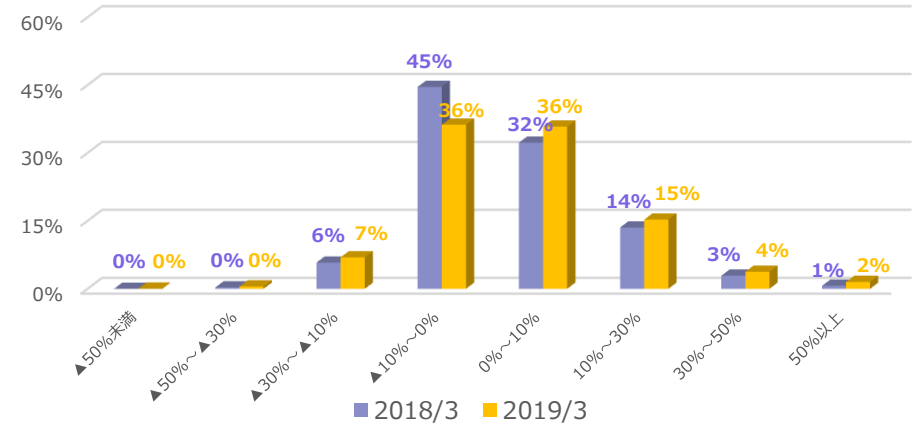
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

証券12

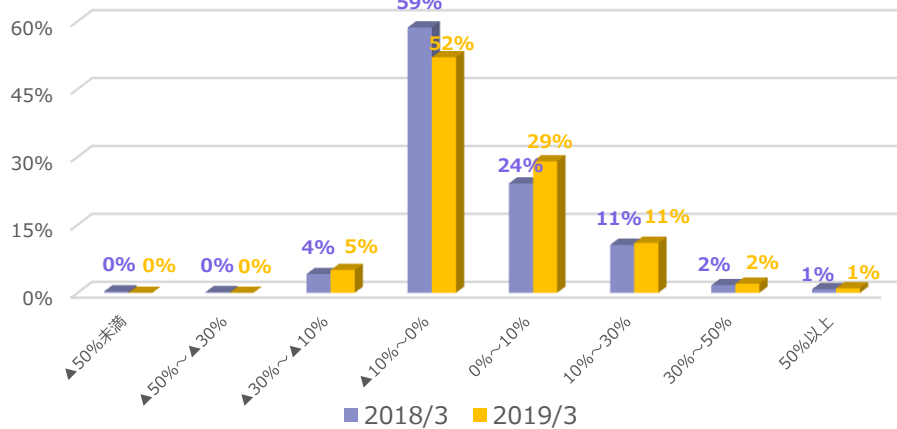


実現損益を含む投信運用損別顧客比率

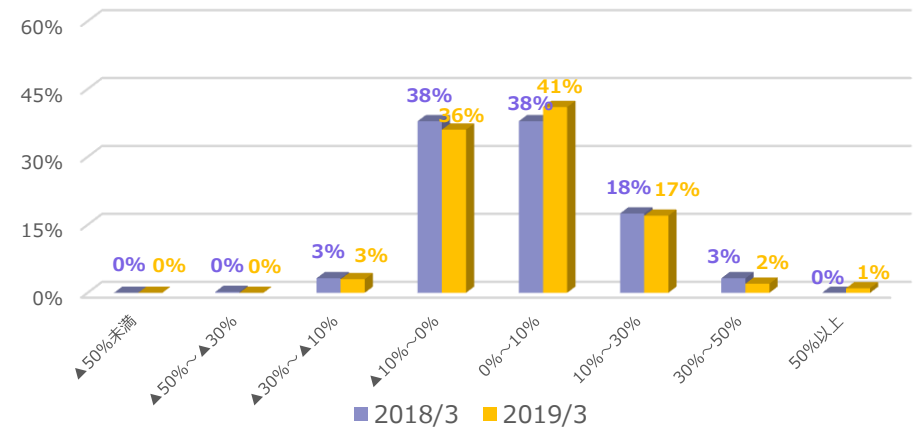
証券15



PB証券12



PB証券16

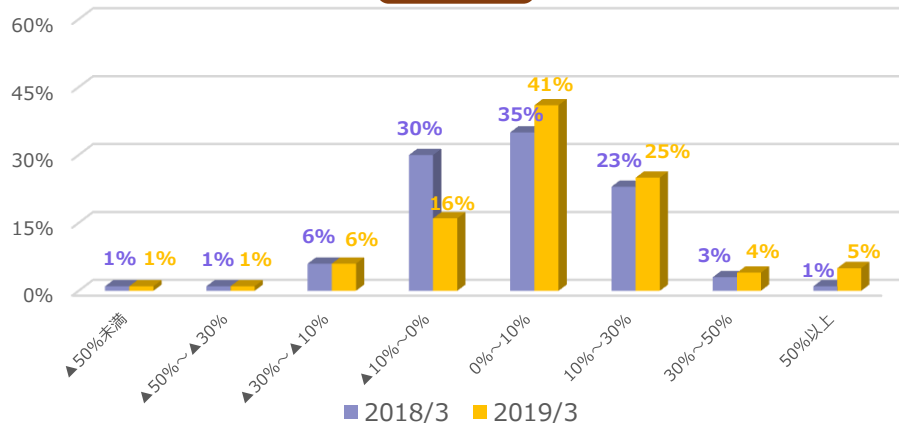


※15.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2014年12月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

※16.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2006年5月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

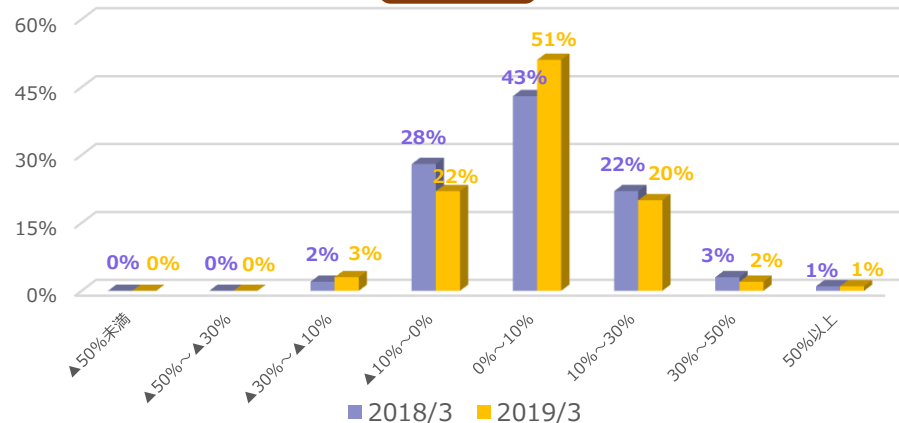
## 【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

カブコム<sup>12</sup>



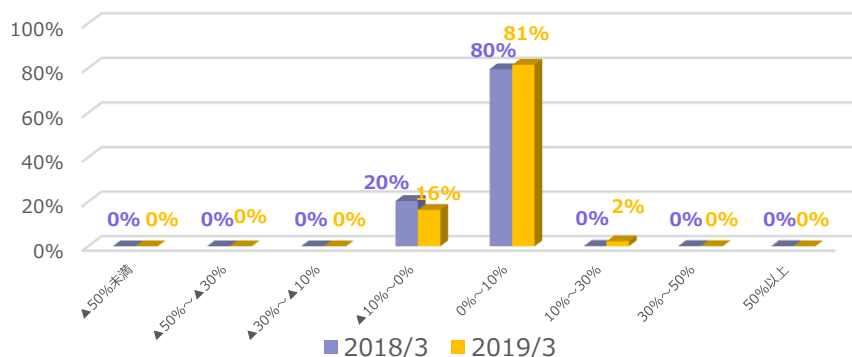
## 実現損益を含む投信運用損益別顧客比率

カブコム<sup>17</sup>



## 【共通KPI】ファンドラップ運用損益別顧客比率<sup>18</sup>

信託



※17.運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2016年12月末以降に売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

※18.①MUFGファンドラップトータルリターン

【計算式】(1)月次収益率 =  $(1+r_1)(1+r_2)\dots(1+r_m)-1$  ※ $r_1\sim r_m$ : 各日次収益率

(2)上記(1)を運用期間の月数分乗算

期間の収益率  $(1+R_1)(1+R_2)\dots(1+R_N)-1$  ※ $R_1\sim R_N$ : 各月次収益率

②資産運用口座トータルリターン

【計算式】基準日時価評価金額÷投資元本 ※投資元本: 一部出金、追加増額を考慮

## <ご参考> 資産運用をお考えのお客さまへの「5つのお約束」

銀信証

◆MUFGは、グループ共通の指針である「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」に基づき、5つのお約束を掲げ、お客さま本位の資産運用提案に取り組んでいます。



**お客さまへの5つのお約束**

**お約束1** 私たちは、お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。

**お約束2** ライフスタイルや将来の目標、リスク許容度などに合わせて提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。

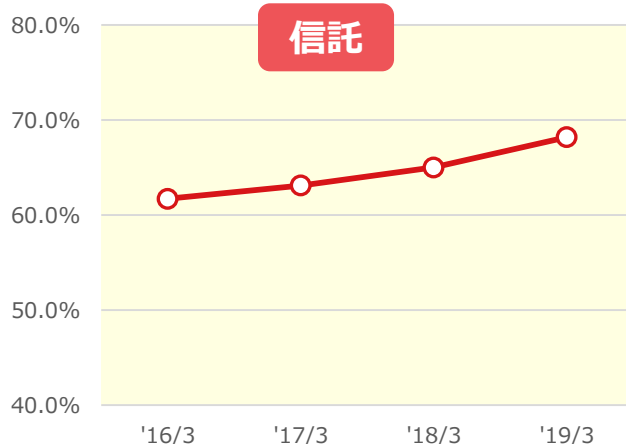
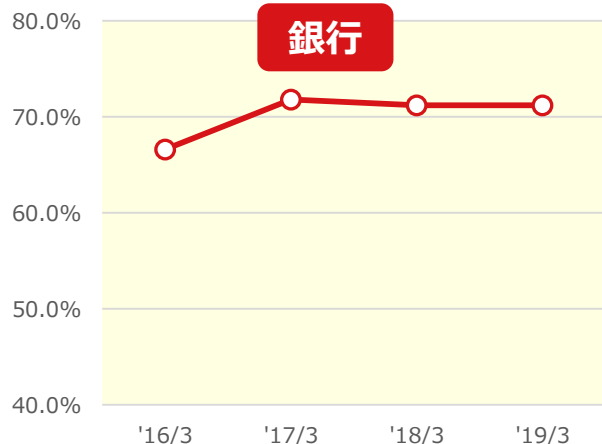
**お約束3** 安定した運用成果をめざして、中長期・資産分散型の投資プランを中心に提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。

**お約束4** お支払いいただく運用費用についてご説明し、お客さまに満足いただけるサービスの提供に努めます。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。

**お約束5** 金融のプロフェッショナルとして、MUFGのグループ協力を活かし、お客さまの資産を最良の状態で運用します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。  
 ・お客さまの大切な資産を長い目で「ためる」「守る」「つなぐ」ことにご提案します。

◆ 安定的な運用成果をご享受いただくため、ファンドラップやバランス型ファンド、複数の運用商品をお持ちいただくご提案をしております。また、お客さまの運用スタンスに応じた効率的な資産配分を意識して、コンサルティングを通じた資産運用のポートフォリオ提案を行っております。

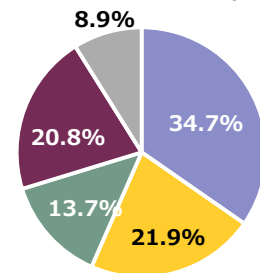
投資信託複数銘柄保有先割合<sup>19</sup>



投資信託の預かり資産残高構成比

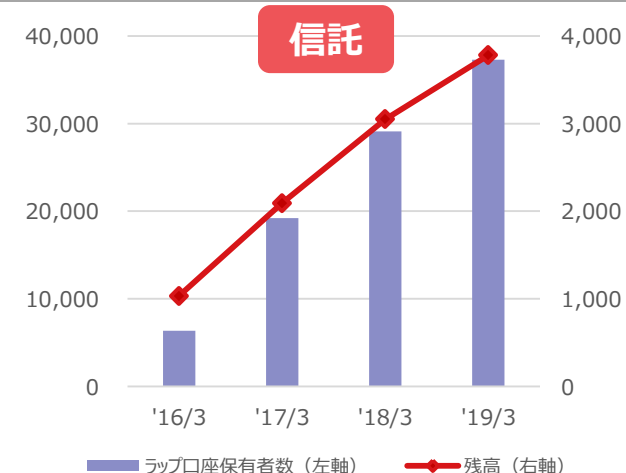
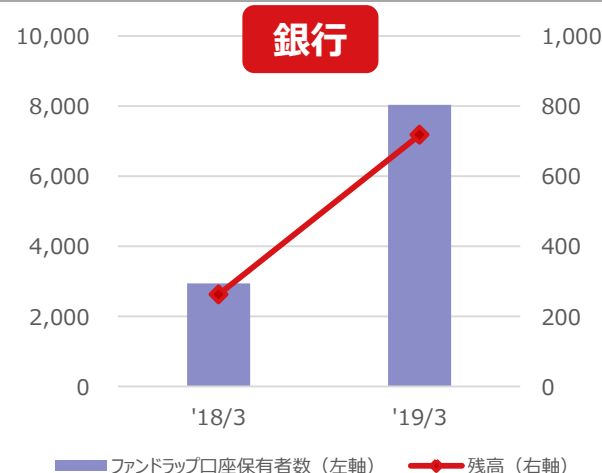
証券

(2018年12月末)

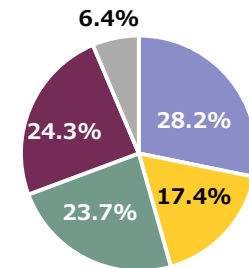


■ 国内債券 ■ 外国債券 ■ 国内株式 ■ 外国株式 ■ その他

ラップ口座保有者数 (人)・残高 (億円)<sup>20</sup>



<ご参考> GPIF資産構成割合 (2018年12月末)<sup>21</sup>



■ 国内債券 ■ 外国債券 ■ 国内株式 ■ 外国株式 ■ その他

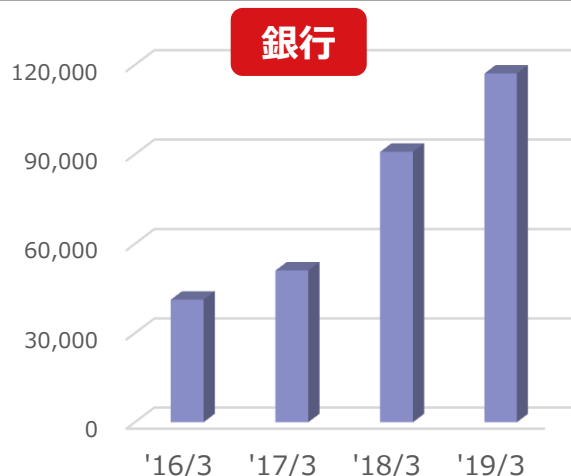
※19.投資信託をお持ちのお客さまのうち、複数の投信商品または1商品で複数の資産や地域、通貨に分散投資されているバランス型ファンドを保有しているお客さまの割合

※20.銀行はMUFGファンドラップ、信託は資産運用口座（プライベートアカウント等）とMUFGファンドラップの合計

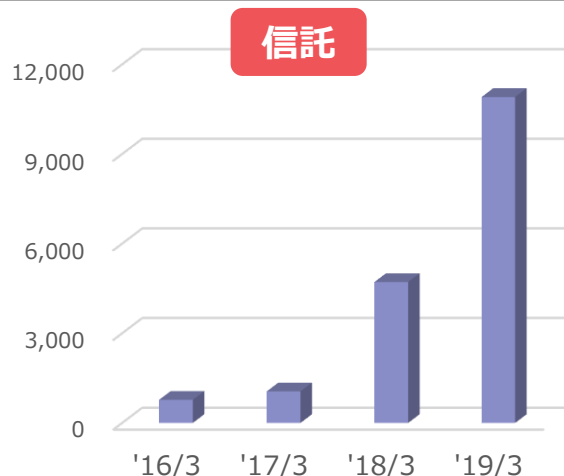
※21.年金積立金管理運用独立行政法人が公開している資産構成割合。モデルポートフォリオのご参考として掲載

◆ 時間分散・長期保有の観点で投信つみたてやつみたてNISA等をご提案しており、資産形成ニーズの高い50代以下のお客さまからの申込が増加しています。また、ご提案にあたって、運用の効率性を示す指標のシャープレシオ等を参考にしております。

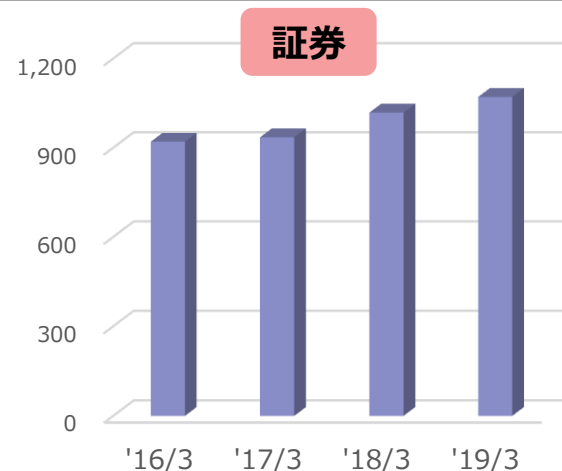
投信つみたて、つみたてNISA保有者数（人）



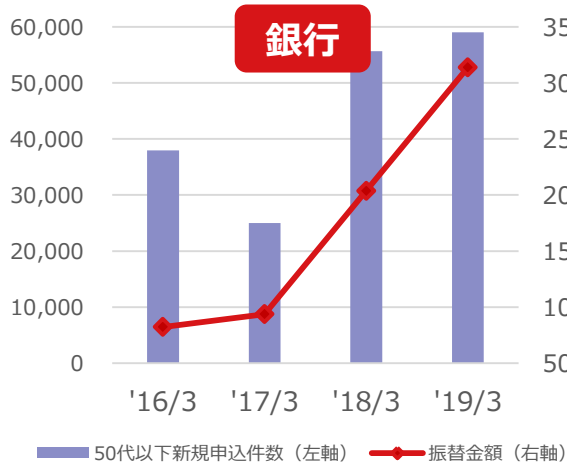
投信つみたて、つみたてNISA保有者数（人）



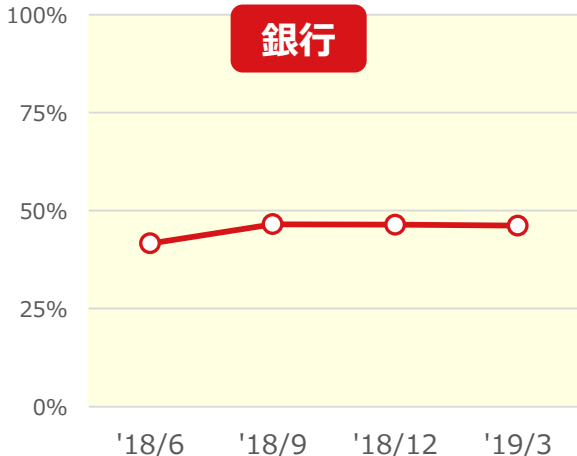
投信つみたて保有者数（人）<sup>22</sup>



投信つみたて振替額（億円）、50代以下お客さま新規申込件数（人）



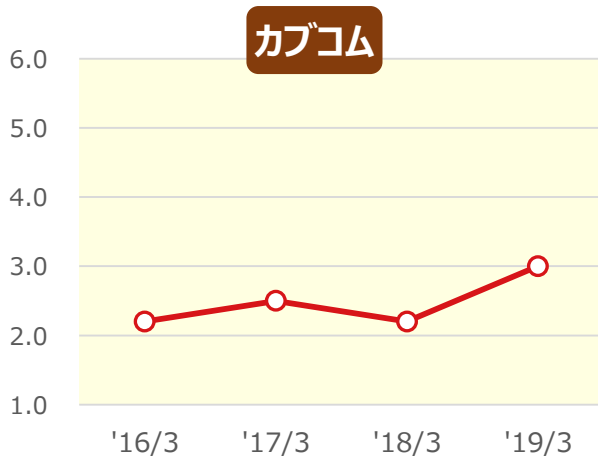
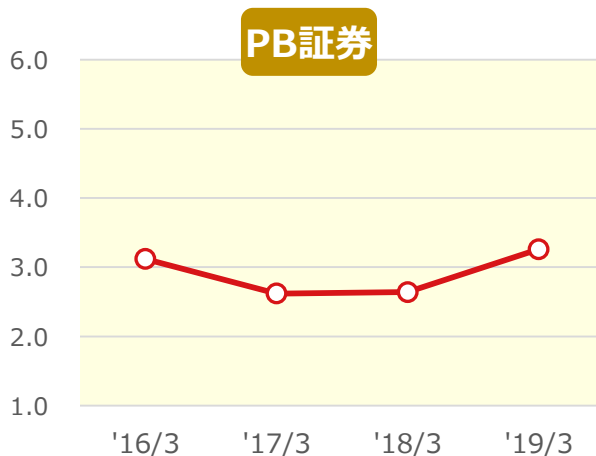
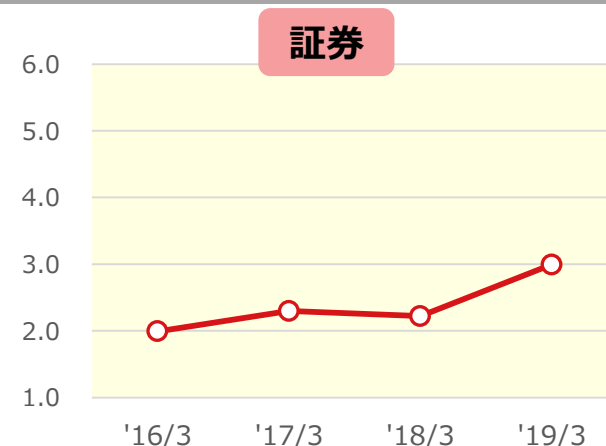
シャープレシオ<sup>23</sup>改善先比率<sup>24</sup>



※22. 買付が行われた口座数  
 ※23. シャープレシオとは、年率リターンから無リスク資産の月次収益率の平均を引き、リスクを除いた運用の効率性を示す指標です。リスクに対してどれだけリターンを得られるか、数値が高いほど運用効率が優れていることを意味します  
 ※24. 一定額・一定期間、運用商品をお持ちいただき、かつ各月に運用商品を成約または解約されたお客さまのうち、前月と比較してシャープレシオが改善したお客さまの割合（3か月間の加重平均）

◆ 中長期保有に資するご提案に努めた結果、平均保有期間は、長期化傾向となっております。

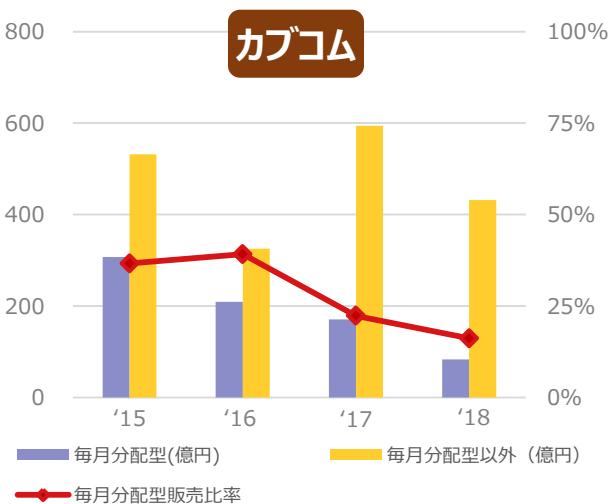
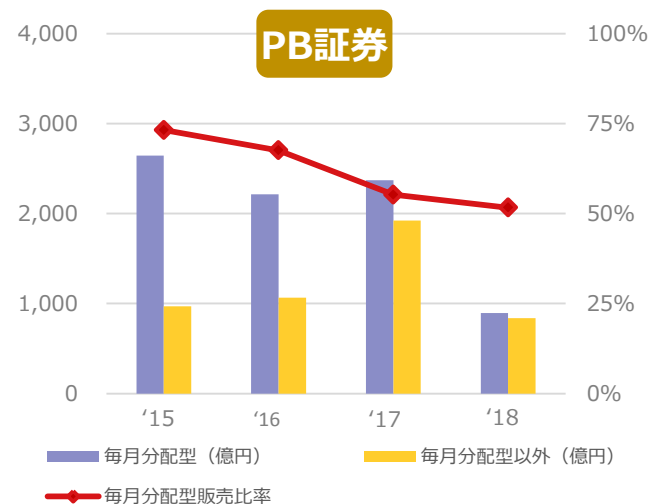
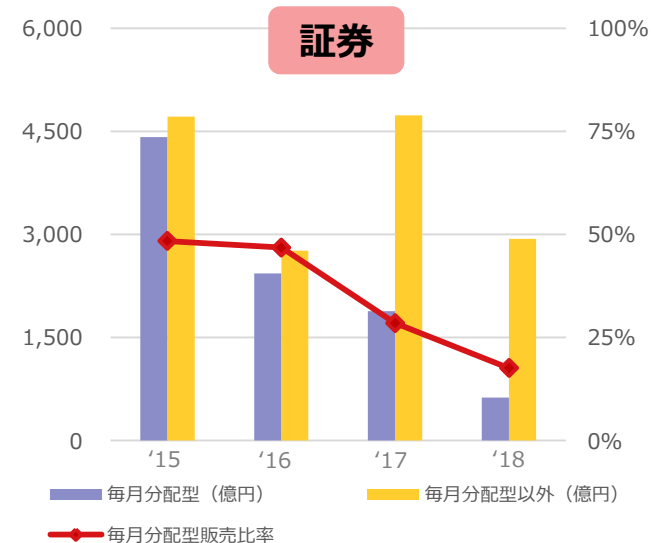
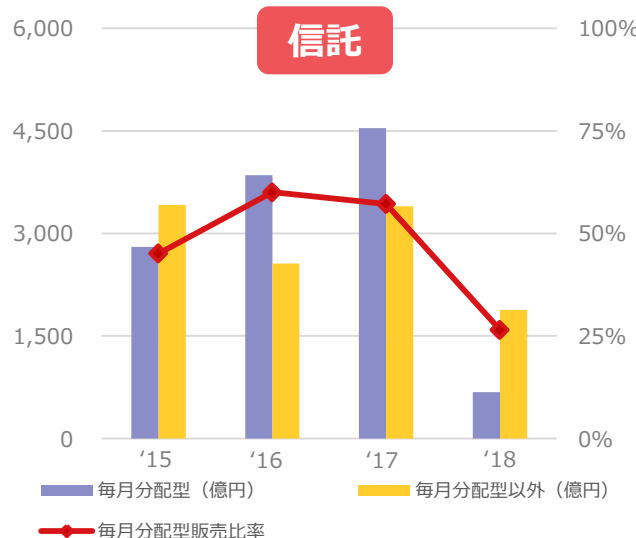
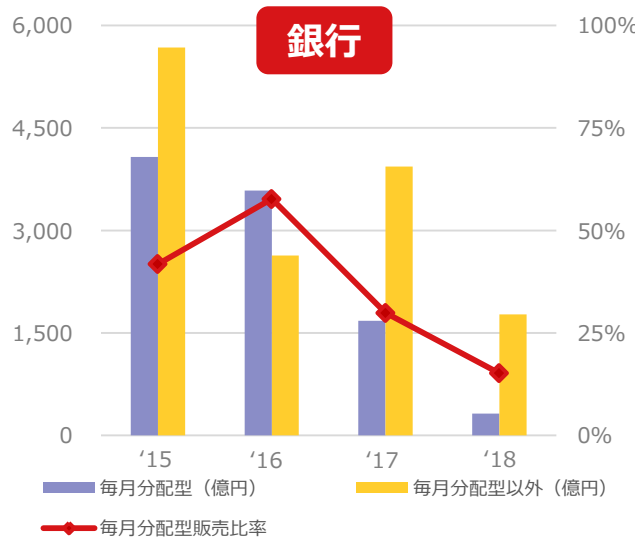
投資信託の平均保有期間（年）<sup>25</sup>



※25. 投信平均保有残高（ファンドラップ合算）を解約・償還額の累計（ファンドラップ合算）で除したもの（それぞれ過去1年間）。なお、証券は、2015年6月以降のデータで算出

◆ 相場環境や投資信託の複利効果等を踏まえながらお客さまのニーズに沿ったご提案を行っており、毎月分配型商品の割合や投資残高に占める分配金額の割合は減少しています。

投資信託<sup>26</sup>に占める毎月分配型商品の販売額とそれ以外の比較

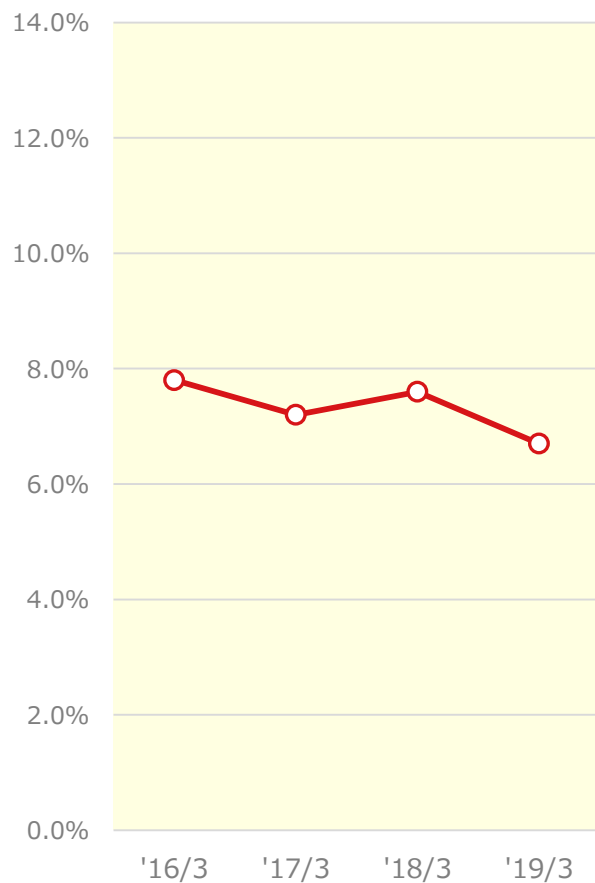


※26. 銀行: 窓販投信 (インターネットバンキング専用ファンド含む)、金融商品仲介での取扱投信の合算  
 信託: 窓販投信 (インターネットバンキング専用ファンド含む)、ファンドラップの合算  
 証券: 公募投信 (ETF、REIT、短期金融型投信を除く)  
 PB証券: 投資信託 (除くETF)  
 カブコム: 追加型株式投資信託 (除くETF)

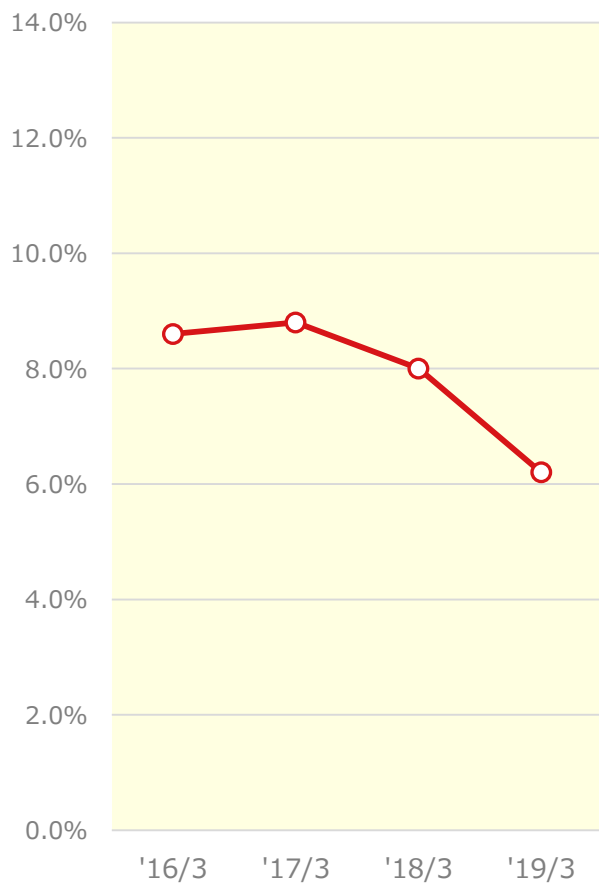


## 投資信託<sup>26</sup>の残高に占める分配金額割合<sup>27</sup>

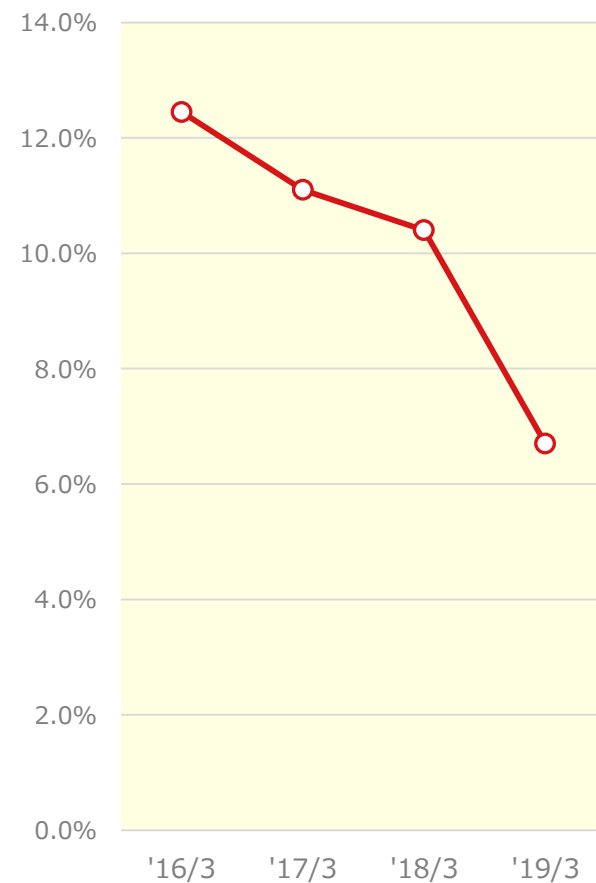
銀行



信託



証券

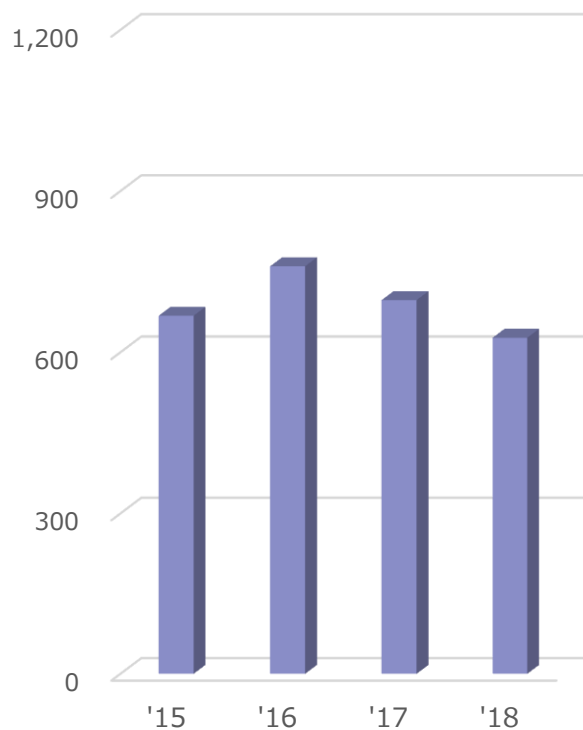


※27.分配金額は、分配金の受取分・再投資分を合算して算出

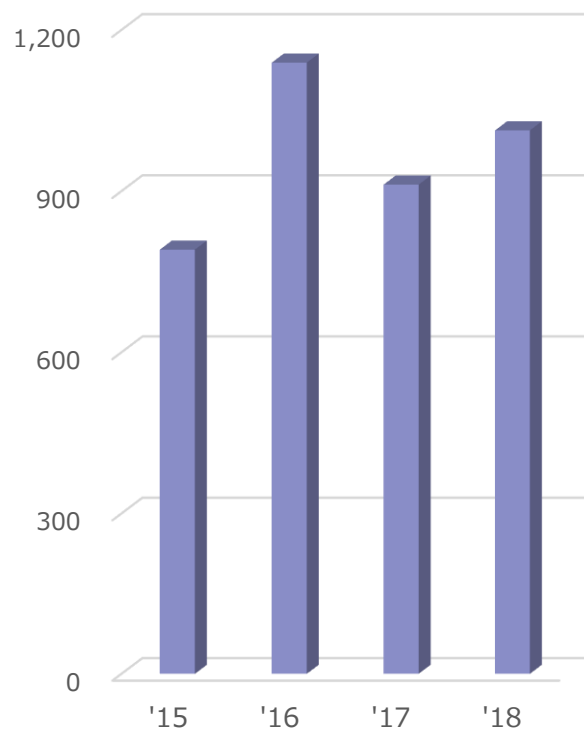
◆お客さま向けセミナーを年600回超の水準で実施しております。セミナーでは運用意義をご認識頂くものや相場動向、介護や相続に関するテーマ等、幅広い情報提供に努めています。

お客さま向けセミナー開催回数（回）<sup>28</sup>

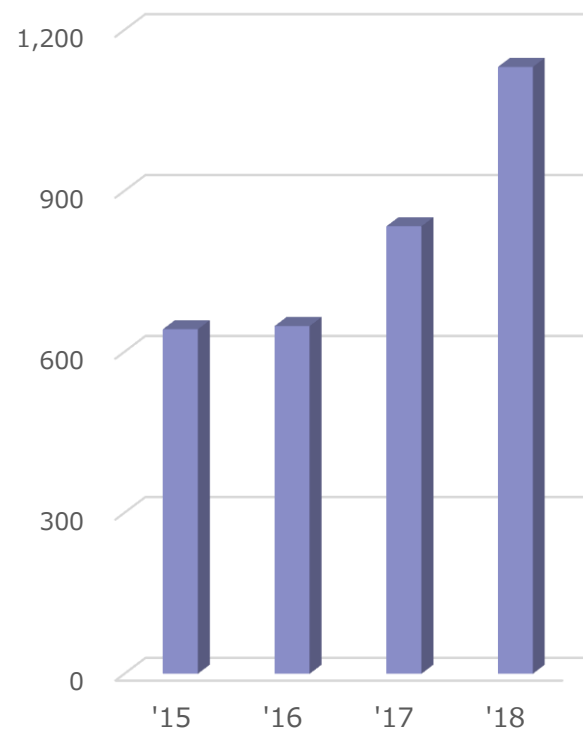
## 銀行



## 信託



## 証券

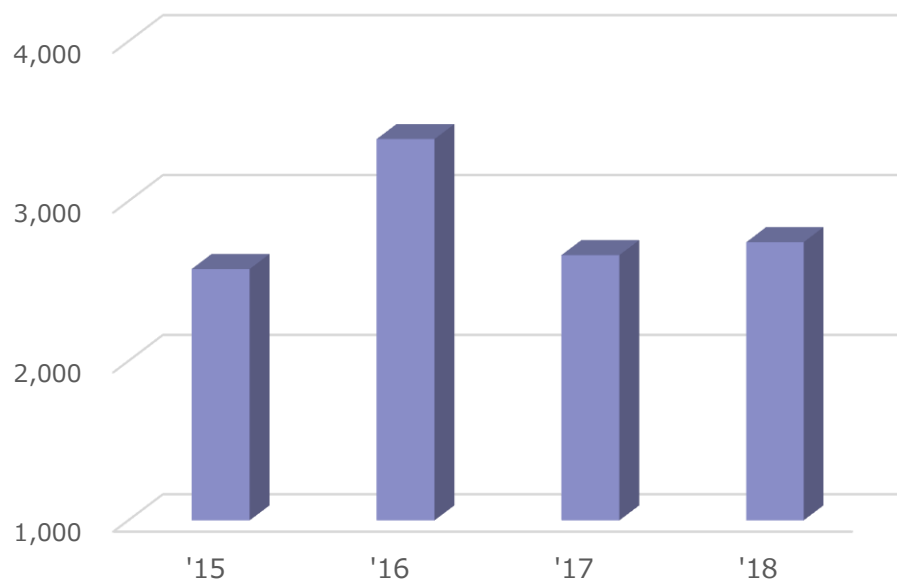


※28.お客さま向けのセミナー回数の集計

- ◆ 2018年8月に「MUFG資産形成研究所」を立ち上げ、現役世代から退職・老後世代を対象に、アンケート調査等を通じて資産形成・資産運用等に関する調査研究を行っています。ホームページにおいて論文・調査研究レポートを公表するほか、シンポジウムや講演会を通じて資産形成の手段としての投資をより身近に感じていただき、人生100年時代をより豊かに過ごしていただくための情報提供を中立的な立場で行っています。
- ◆ また、投資教育セミナー実施、「投資教育WEB」に掲載するコンテンツの充実を図り、多面的なチャネルで資産形成を支援してまいります。

投資教育セミナー実施件数（件）<sup>29</sup>

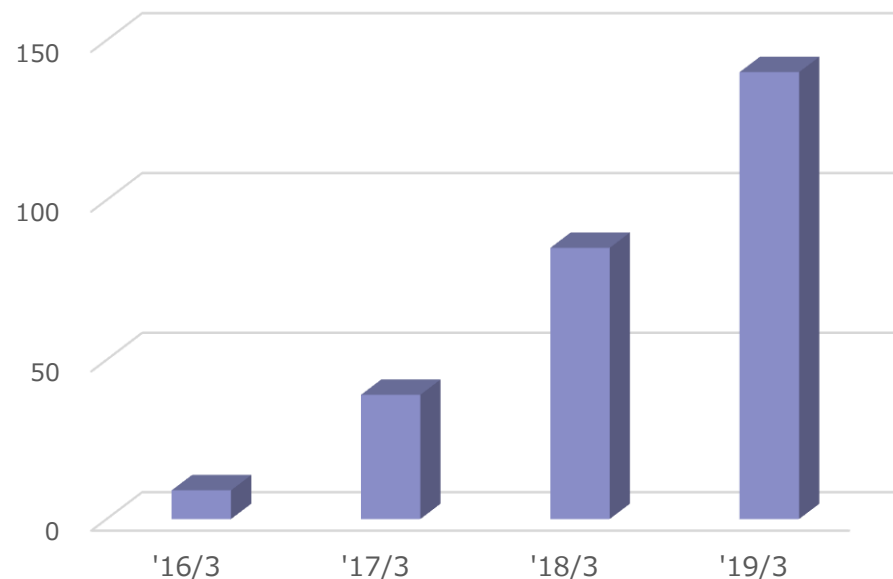
信託



※29.2016年度は大型案件受託による特殊増加要因

投資教育 WEB コンテンツ累計数（件）

信託



## 4.多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

### (1)多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

- ・投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。

### (2)お客さまの資産形成に資する商品選定および販売手続等の整備

- ・商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客さまの立場で資産形成に資する商品を選定し、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

投資信託ラインナップ<sup>°</sup>（2019年3月末）

銀行

信託

証券

PB証券

カブコム

カテゴリ	銀行 <sup>30</sup>		信託 <sup>31</sup>		証券 <sup>32</sup>		PB証券 <sup>33</sup>		カブコム <sup>34</sup>	
	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	5	1%	6	2%	7	1%	1	1%	44	4%
国内株式	50	14%	34	13%	122	23%	11	9%	221	20%
海外債券	104	29%	85	32%	133	27%	49	42%	218	20%
・グローバル	0	0%	0	0%	0	0%	16	14%		
・先進国	65	18%	51	19%	83	17%	22	19%		
・ハイイールド	14	4%	12	5%	16	4%	5	4%		
・エマージング	25	7%	22	8%	34	6%	6	5%		
海外株式	113	32%	45	17%	135	25%	31	26%	195	18%
・グローバル	0	0%	0	0%	0	0%	9	8%		
・先進国	89	25%	34	13%	102	19%	14	12%		
・エマージング	24	7%	11	4%	33	6%	8	7%		
REIT	29	8%	24	9%	36	7%	8	7%	90	8%
バランス型	48	14%	64	24%	60	11%	8	7%	191	17%
その他	5	1%	4	2%	21	5%	10	8%	151	14%
合計	<b>354</b>	<b>100%</b>	<b>262</b>	<b>100%</b>	<b>514</b>	<b>100%</b>	<b>118</b>	<b>100%</b>	<b>1,110</b>	<b>100%</b>
ノーロード商品	64	18%	50	19%	60	12%	1	1%	680	61%

※30.窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、金融商品仲介口座での取扱投信の合算。追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信は含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

※31.窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）。追加型国内投信のみ（外国籍投信、単位型・マネーボールファンドは含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

※32.追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

※33.追加型投信のみ（外国籍投信を含み、単位型投信は含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

※34.追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめず各々1ファンドとしてカウント

◆生命保険は、お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインナップの充実に努めてまいります。

生命保険ラインアップ（2019年3月末）

銀行 信託 証券

商品種類		銀行		信託		証券	
		取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
一時払	円建	4	21%	10	53%	6	38%
	投資型年金	0	0%	0	0%	0	0%
	定額年金	0	0%	2	11%	1	6%
	終身	4	21%	8	42%	5	31%
	介護・医療	0	0%	0	0%		
	外貨建	15	79%	9	47%	10	63%
	投資型年金	2	11%	2	11%	2	13%
	定額年金	3	16%	2	11%	1	6%
	終身	10	53%	5	26%	7	44%
	合計	19	100%	19	100%	16	100%
平準払	終身保険	6	25%	2	29%	2	100%
	定期保険	2	8%	0	0%		
	医療・がん保険	11	46%	2	29%		
	学資保険	0	0%	0	0%		
	年金・養老保険	4	17%	2	29%		
	介護保険	1	4%	1	14%		
	合計	24	100%	7	100%	2	100%
手数料開示商品 <sup>35・36</sup>		24	56%	16	62%	18	100%

※35.銀行:保険会社から合意を得られた商品を手数料開示

※36.信託・証券:特定保険は2016年10月より手数料開示を開始

- ◆ 多様な商品をお客さまがご選択いただけるよう、的確な情報提供に努めております。
- ◆ 足元、お客さまのニーズから、銀行・信託では、ファンドラップやバランス型ファンドなどの安定的な商品が、証券では株式系ファンドが販売上位にランクインしております。

## 投資信託<sup>37</sup>の販売額上位10銘柄、販売額割合（2018年度）

### 銀行

No.	ファンド名	区分 <sup>38</sup>	毎月分配	販売割合
1	MUFGファンドラップ	ベーシック		17%
2	eMAXIS 日経225インデックス	ベーシック		12%
3	三菱UFJインデックス225オープン	ベーシック		10%
4	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	ベーシック		4%
5	グローバル・フィンテック株式ファンド	アドバンス		4%
6	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	アドバンス		3%
7	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	ベーシック	〇	3%
8	グローバル・フィンテック株式ファンド（年2回決算型）	アドバンス		2%
9	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	アドバンス	〇	2%
10	三菱UFJ TOPIX・ファンド	ベーシック		2%

### 信託

No.	ファンド名	区分 <sup>38</sup>	毎月分配	販売割合
1	MUFG ファンドラップ	ベーシック		20%
2	三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック		7%
3	オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）	アドバンス		6%
4	豪ドル毎月分配型ファンド	アドバンス	〇	6%
5	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	アドバンス	〇	5%
6	優良日本株ファンド	アドバンス		4%
7	豪ドル年1回決算型ファンド	アドバンス		3%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	アドバンス	〇	3%
9	トンド・アロケーション・オープン	ベーシック		3%
10	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	アドバンス		2%

### 証券

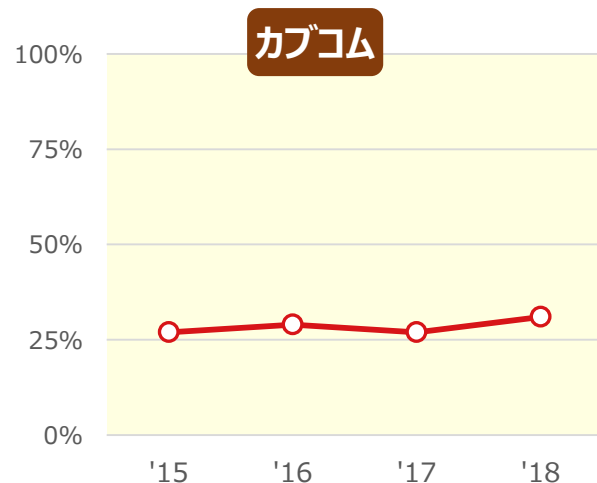
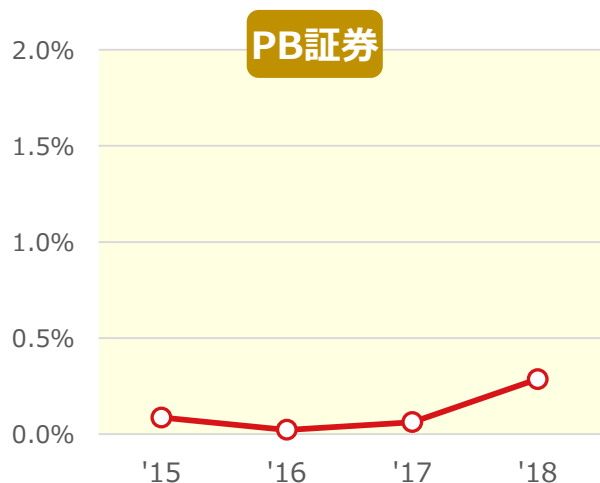
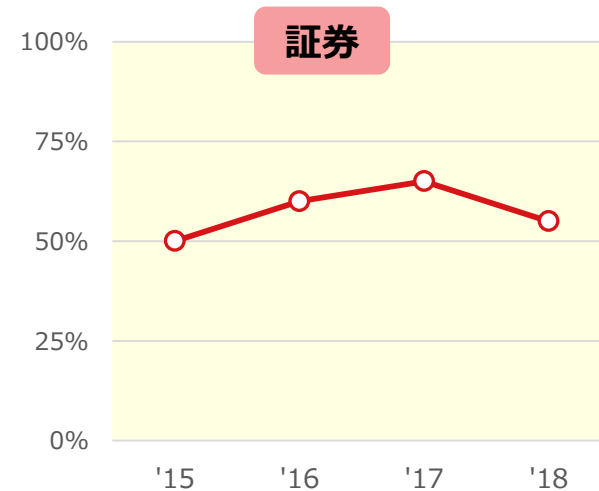
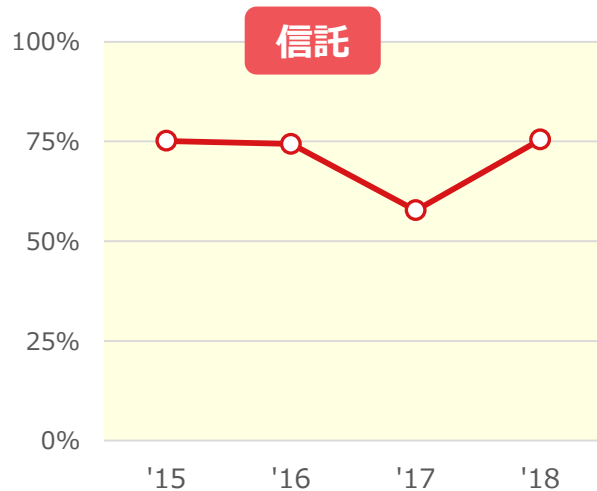
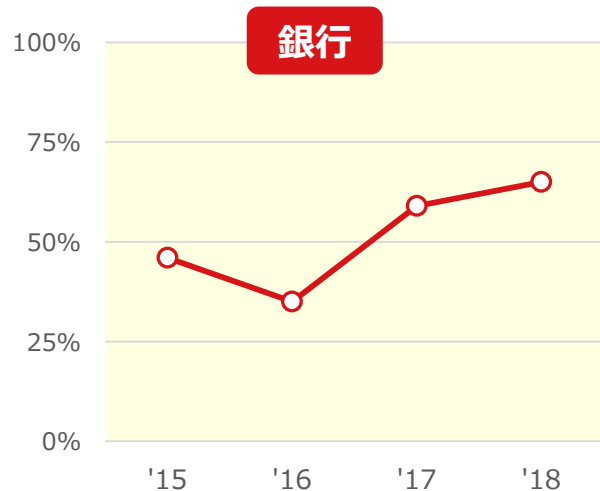
No.	ファンド名	区分 <sup>38</sup>	毎月分配	販売割合
1	未来イノベーション成長株ファンド	アドバンス		14%
2	アムディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	アドバンス		7%
3	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	アドバンス		6%
4	アムディ・次世代医療テクノロジー・F（限定追加・繰上条項付）	アドバンス		4%
5	明治安田クオリティ日本株ファンド（限定追加・繰上償還条項付）	アドバンス		4%
6	三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	アドバンス	〇	4%
7	グローバル・フィンテック株式ファンド	アドバンス		4%
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	アドバンス		4%
9	わたしの未来設計＜安定重視型＞（分配コース）	ベーシック		3%
10	グローバル・フィンテック株式ファンド（年2回決算型）	アドバンス		3%

※37. 銀行：窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップ、金融商品仲介での取扱投信の合算  
 信託：窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップの合算  
 証券：公募投信（ETF、REIT、短期金融型投信を除く）

※38. 「ベーシック」商品は、投資環境の変化に応じ資産配分を調整するタイプのバランス型ファンド、為替変動リスクを抑え高格付け債券で運用するファンド、インデックス運用の株式ファンドのことで、これから資産運用を始められるお客さまやポートフォリオに組入れる基礎的な商品をご希望されるお客さま向けの商品。一方、「アドバンス」商品は特定の国や地域等に投資するアクティブ運用の商品で、独自のポートフォリオを組んで運用したいお客さまにもご満足できる幅広い投資対象となっているもの

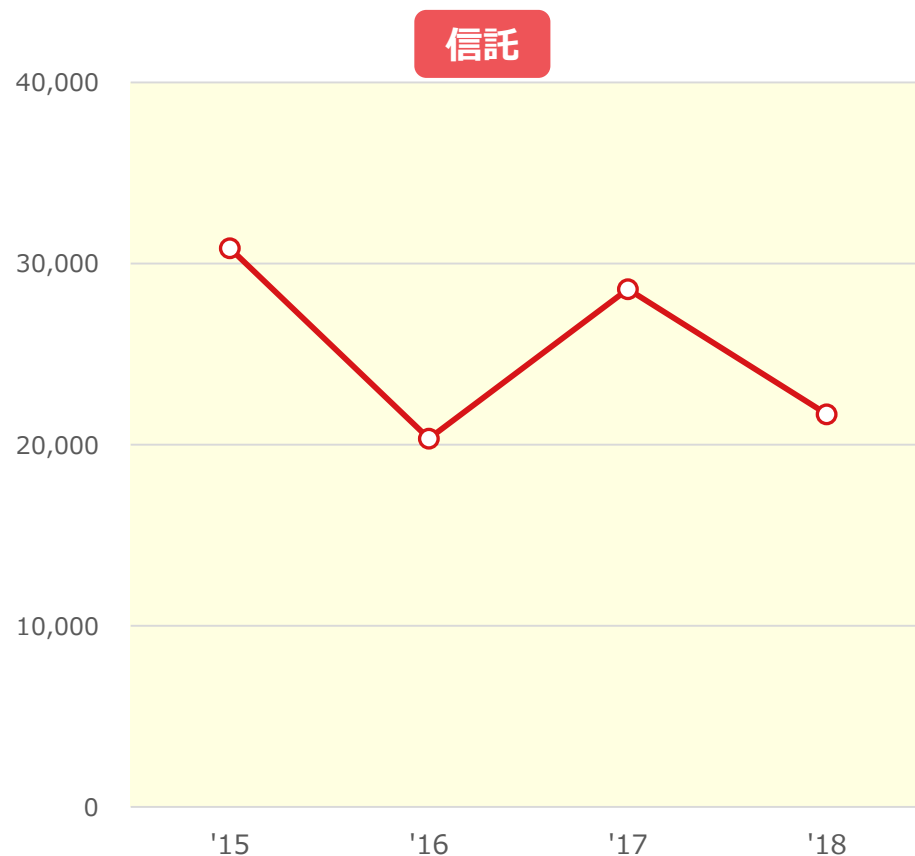
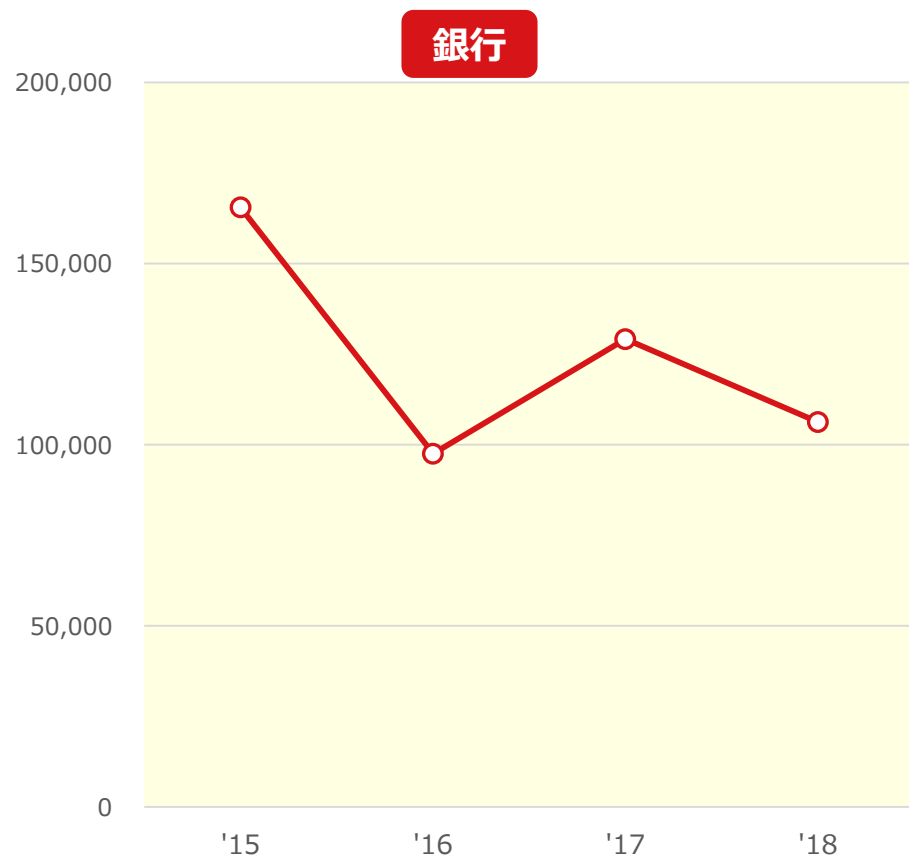
- ◆ 足元、銀行・信託で系列運用会社商品販売額が増加しておりますが、MUFGファンドラップやインデックス型商品など多くのお客さまにお選びいただいたことによるものです。
- ◆ 引き続き、お客さまのニーズにお応えできる最適な商品のご提供に努めてまいります。

系列運用会社商品販売額比率



◆ご来店が難しいお客さまに対して、インターネット取引の利便性向上に取り組んでおります。  
今後も、更なるお客さまの利便性向上に努めてまいります。

インターネットバンキング投信成約件数（件）





## 5.お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

### (1)お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

- ・お客さまの投資成果の向上に資するよう、既存の運用手法の改善や新たな投資機会の追求に努めるとともに、運用・管理体制の高度化を図ってまいります

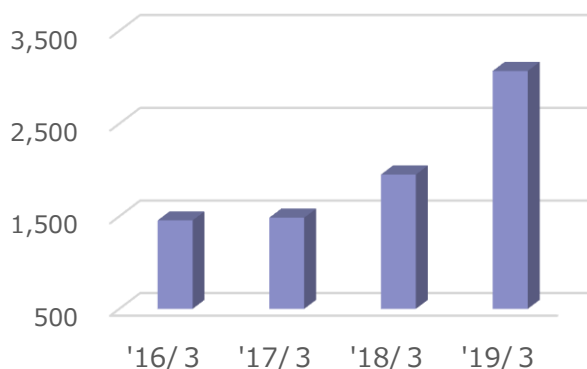
### (2)運用業務における独立性・透明性の確保

- ・お客さまの利益のために忠実に業務を遂行してまいるとともに、運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、運用機関としてのガバナンス態勢の一層の強化を図ってまいります
- ・これまでのチャイニーズ・ウォール等による徹底した利益相反管理に加え、運用機関としてのスチュワードシップ活動の実効性をさらに高めてまいります

◆お客さまの資産形成に貢献するため、「つみたてNISA」対象商品を提供し、積立投資を通じて、売買タイミングに依らない、安定した運用パフォーマンスの提供を目指しています。

「つみたてNISA」対象商品の残高  
(億円)<sup>39</sup>

MUKAM



「つみたてNISA」対象商品全体の積立投資パフォーマンス<sup>40</sup>

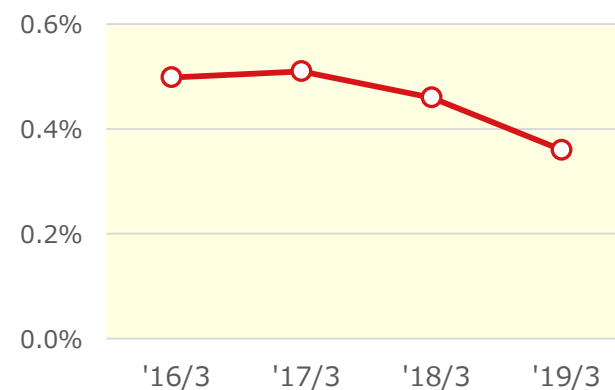
MUKAM

積立期間	1年	3年	5年
トータルリターン	0.8%	9.0%	14.3%
年率換算	(0.8%)	(3.0%)	(2.9%)

2019年3月末基準

＜ご参考＞「つみたてNISA」対象商品全体の信託報酬推移<sup>41</sup>

MUKAM



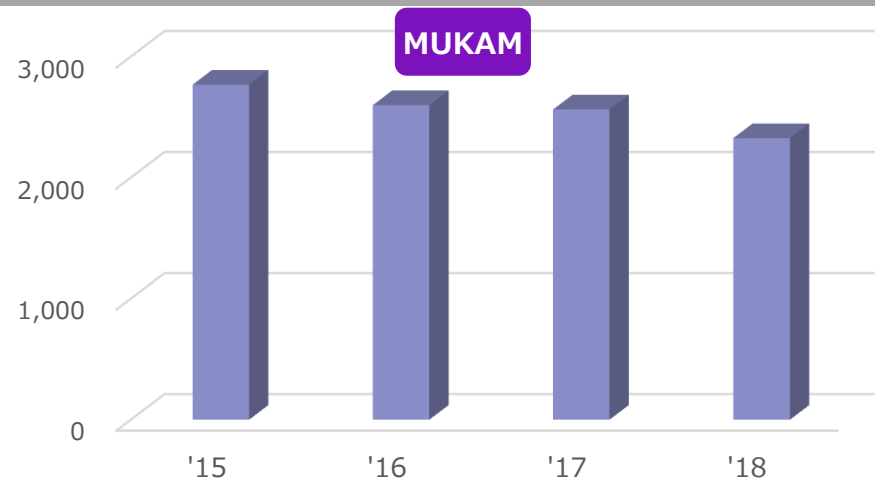
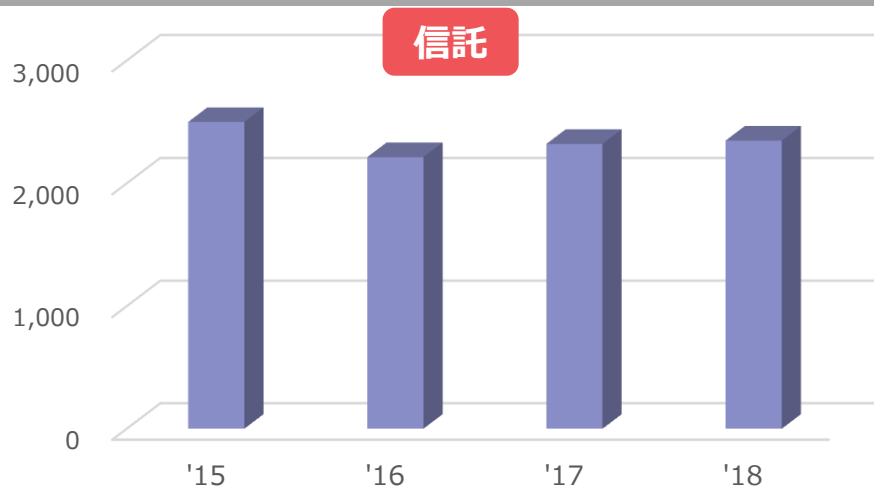
※39.「つみたてNISA」の対象商品は、手数料が低水準、頻繁に分配金が払われない等、長期・積立・分散投資に適した商品として法令上の要件を満たし、金融庁にて届出が受理されたファンド

※40.MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品に、毎月一定額積立投資した場合のパフォーマンスを残高加重平均して算出（税金は考慮していません）。過去の実績に基づいた試算結果であり、将来の運用状況・成果を示唆・保障するものではありません

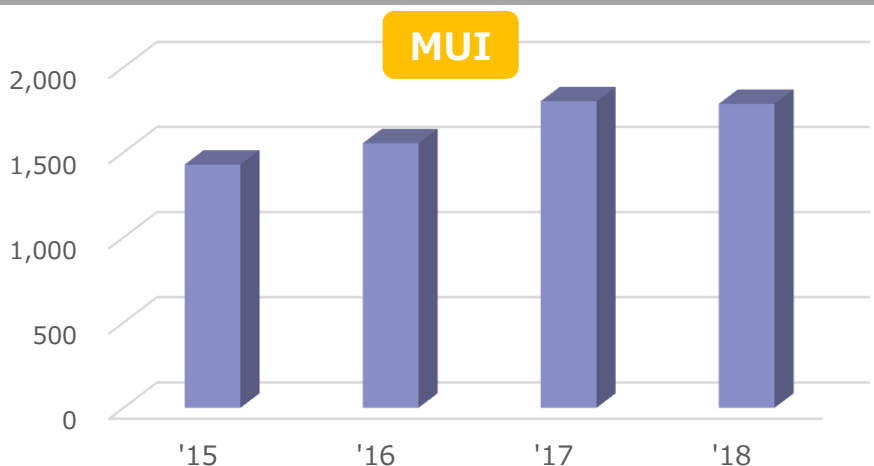
※41.MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品の信託報酬率を残高加重平均して算出

◆ 機関投資家としての「目的を持った対話(エンゲージメント)」を通じ、投資先企業の企業価値向上や持続的成長を促し、投資家であるお客さまの中長期的な投資リターンを拡大を図っております。

エンゲージメント件数 (件)

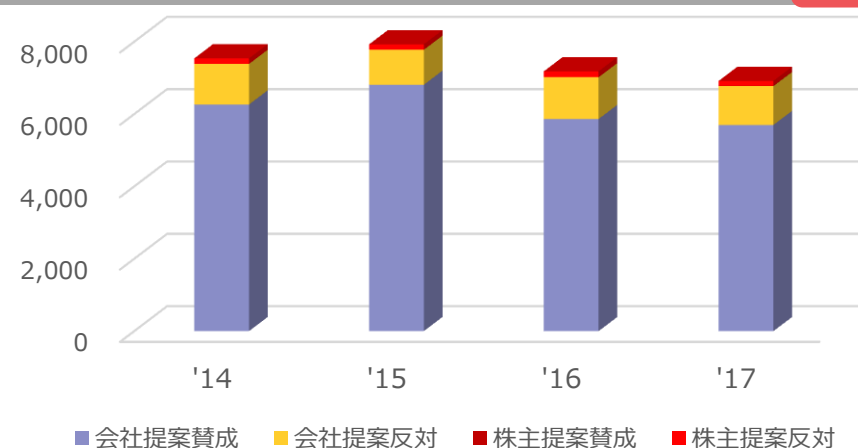


エンゲージメント件数 (件)



議決権行使状況 (件) <sup>42</sup>

**信託**



※42.各年7月～翌年6月に開催された株主総会の議案への対応

## 6.資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

### (1)資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

・資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスをご提供してまいります。

### (2)資産管理に関する幅広い情報の提供

・お客さまの効率的な資産運用をサポートするため、資産管理に関する情報を幅広く、かつタイムリーにご提供してまいります。

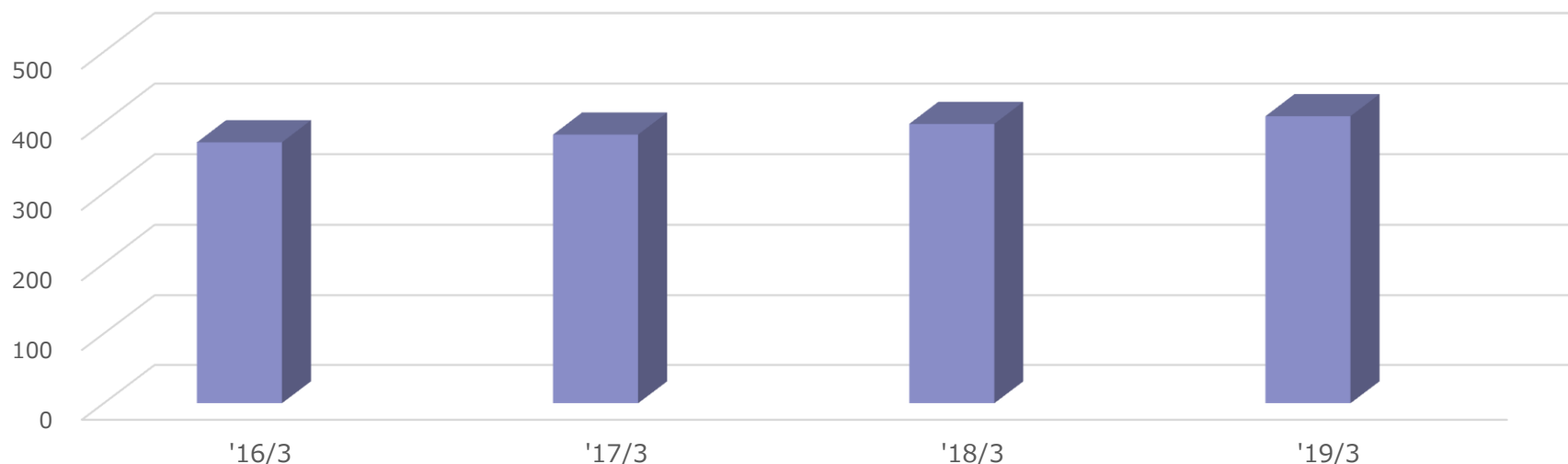
◆お客さまのグローバルかつ多様な投資ニーズに応えられるよう、新商品・新サービスへの取り組みを進めています。

◆RPA等の最新技術も積極的に導入し、事務品質と生産性の一層の向上に努めてまいります。

資産管理残高（兆円）<sup>43</sup>

信託

MTBJ



※43.年金信託、投資信託等の信託財産残高に加え、カストディ等事務委任を受けている財産の残高を含む

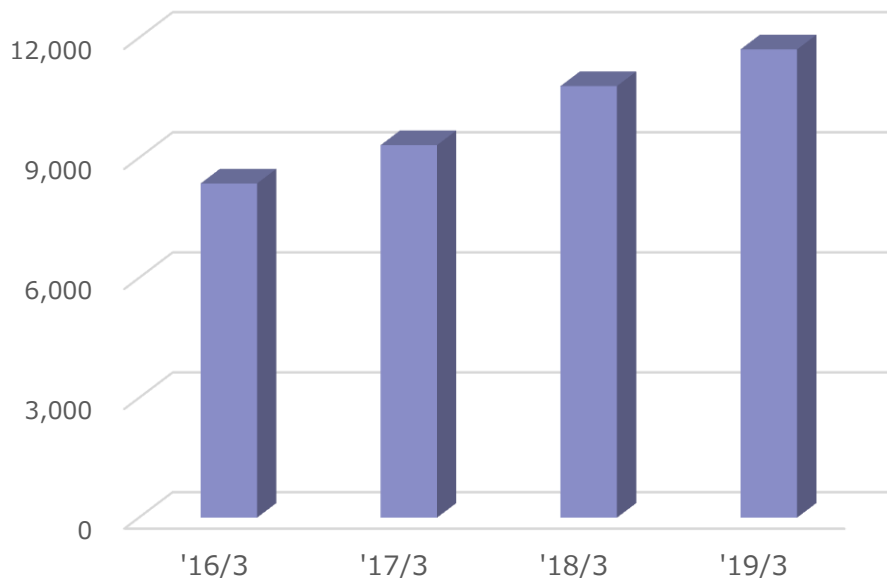
## 7.グループ総合力を活用した金融サービスの提供

グループ各社の商品・サービス、ノウハウおよびリソースを結集し、グループ総合力を最大限に発揮することで、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります  
運用商品のご提供にとどまらず、次世代への資産承継も見据えながら、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供してまいります

- ◆ DC運用商品残高は、DCマーケットの拡大により、増加傾向を維持しています。
- ◆ 信託銀行では、2018年度より、「遺言の日」、「不動産の日」を設けて、ご相談いただける機会を増やしております。引き続き、お客さまの様々なニーズにお応えしてまいります。

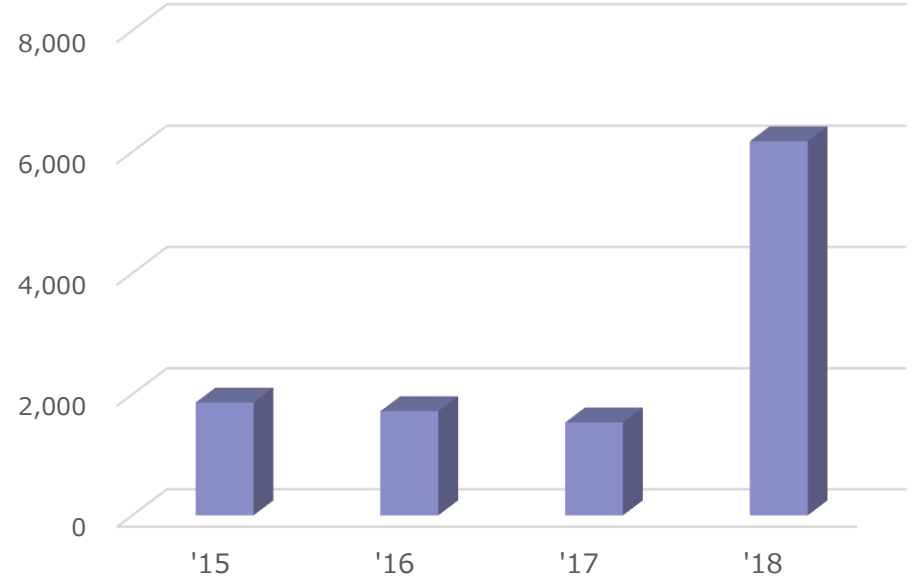
DC 運用商品残高（億円）<sup>44</sup>

MUFG



相続・不動産個別相談会の参加者数推移（人）

信託



※44.MUFGとして販売しているDC運用商品（定期預金を除く）の残高

## 8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

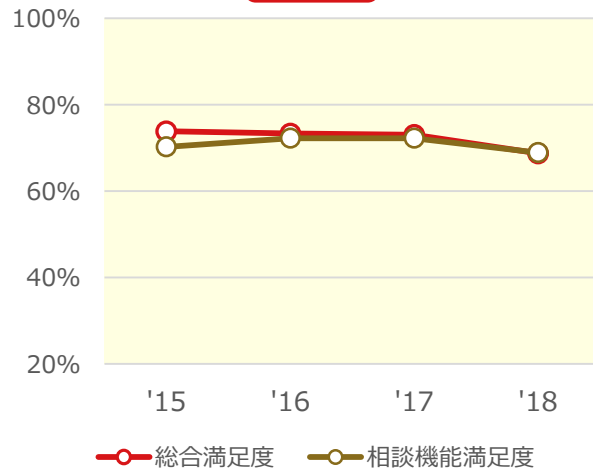
店頭・コールセンター・インターネット等の多様なチャネルを整備し、お客さまの利便性向上を図ってまいります。

ICT（情報通信技術）を活用し、お客さまに新たな付加価値をご提供するサービス・コンサルティング手法の開発等に取り組んでまいります。

◆お客さまの声を起点としたサービス向上を目的にお客さまの声を直接頂く満足度調査を定期的実施しております。お客さまからの声をサービスの更なる改善に反映させてまいります。

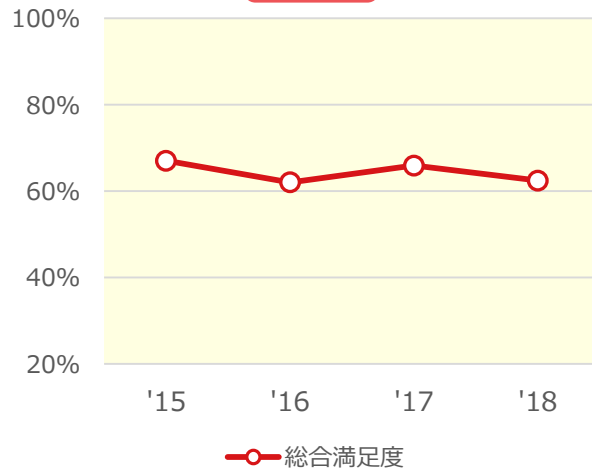
### 満足度調査

銀行<sup>45</sup>



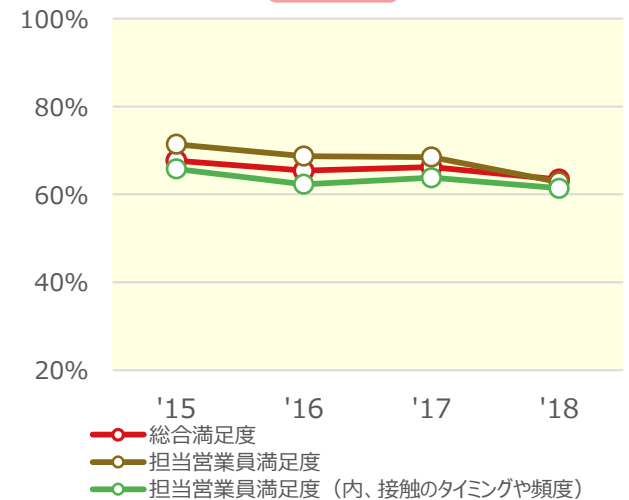
※45.調査概要／対象者：無作為に抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約8,000名／回答数：約2,000名）  
総合満足度：当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合  
相談機能満足度：資産運用、ライフプラン、ローンの相談・取引について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

信託<sup>46</sup>



※46.調査概要／対象者：無作為に抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約4,000名／回答数：約1,700名）  
総合満足度：当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

証券<sup>47</sup>

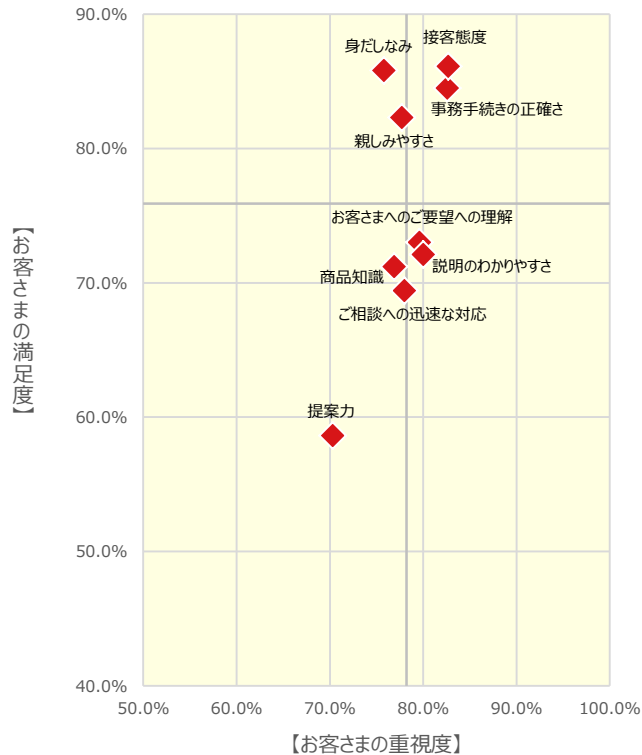


※47.調査概要／対象者：預かり資産別に3分類し、割付抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約8,000名／回答数：約2,500名）  
総合満足度：当社との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合  
担当営業員満足度：担当営業員の対応について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

◆ 担当者の対応に対する満足度には対応内容ごとに差があり、今後、ご期待に応えられるよう、改善を目指してまいります。

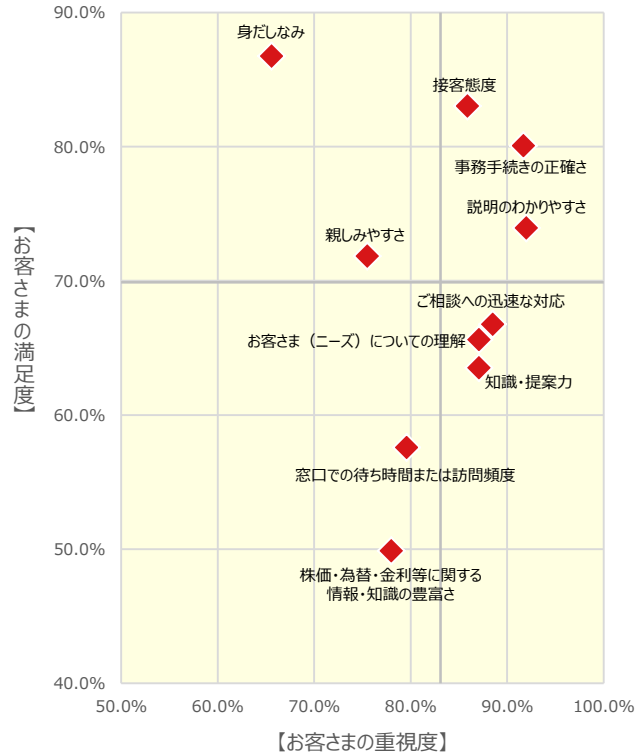
## 外訪担当者の対応に関する重視度と満足度

### 銀行<sup>45</sup>



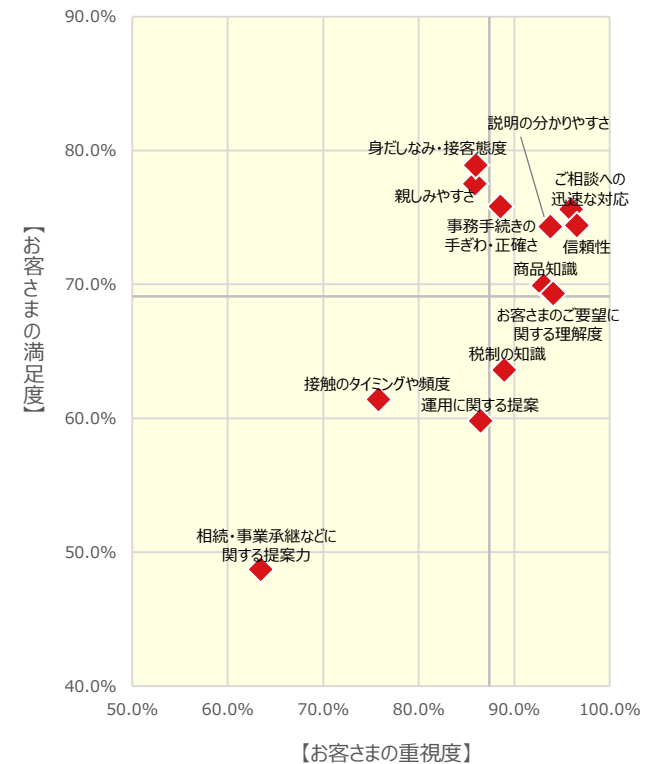
## 担当者の対応に関する重視度と満足度

### 信託<sup>46</sup>



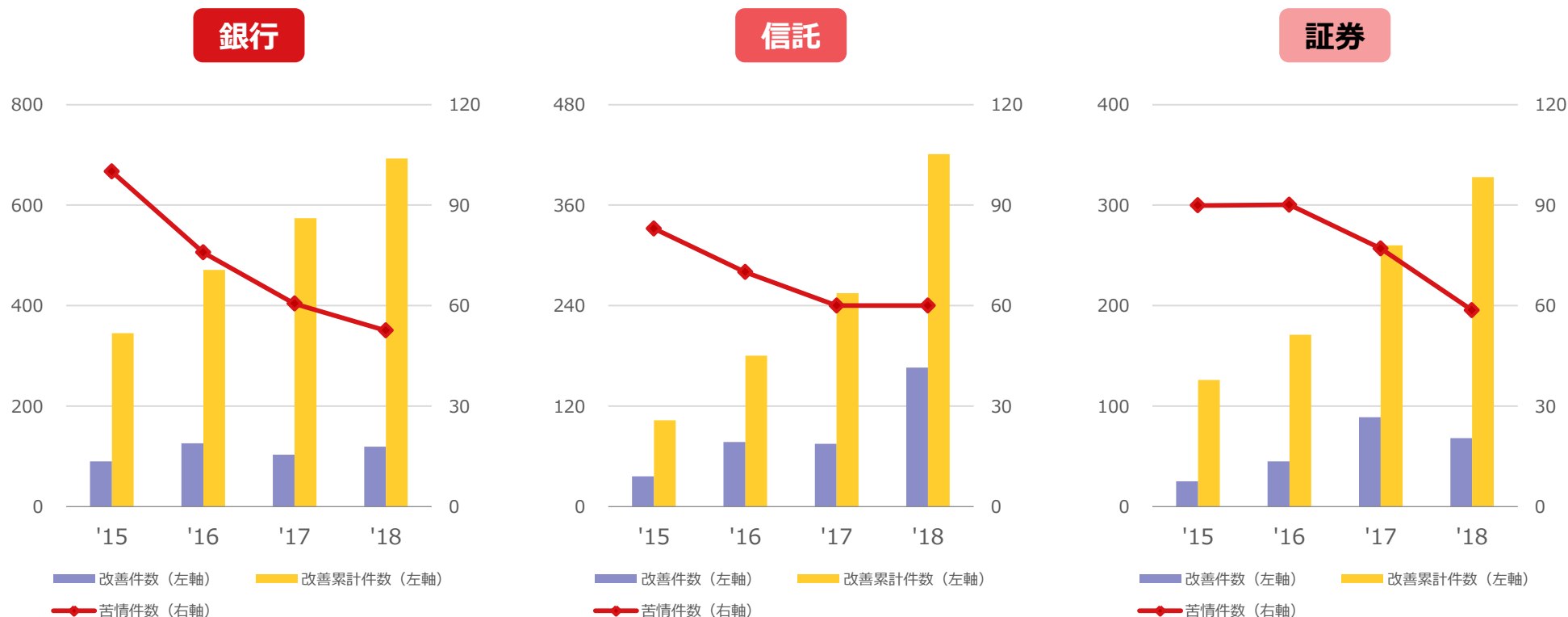
## 担当営業員の対応に関する重視度と満足度

### 証券<sup>47</sup>



- ◆お客さまの声を大切にし、お客さまからのご意見・ご要望にお応えできるよう努めた結果、お客さまの声に基づく改善への取組件数は毎年、着実に積みあがっております。
- ◆引き続き、ご期待にお応えできるよう改善に努めてまいります。

お客さまの声に基づく改善件数（件）<sup>48</sup>



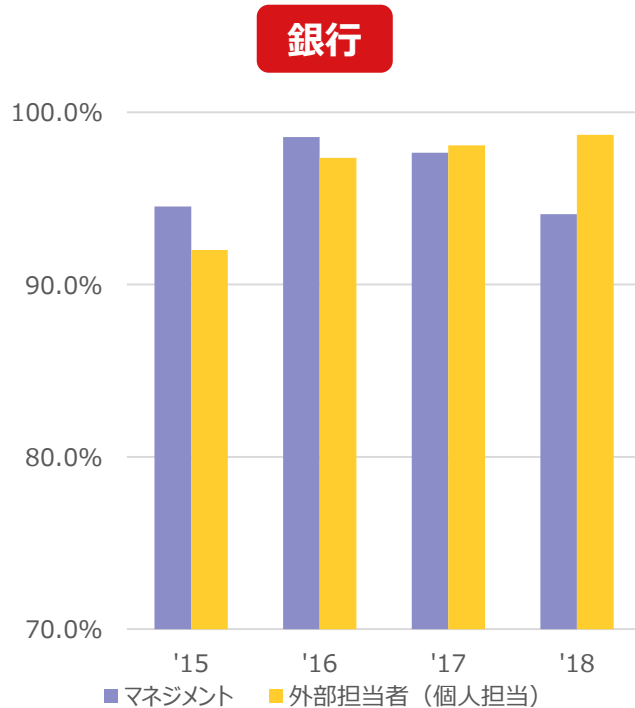
※48.【苦情件数】2012年度を100とした指数

## 9.プロフェッショナリズムの発揮

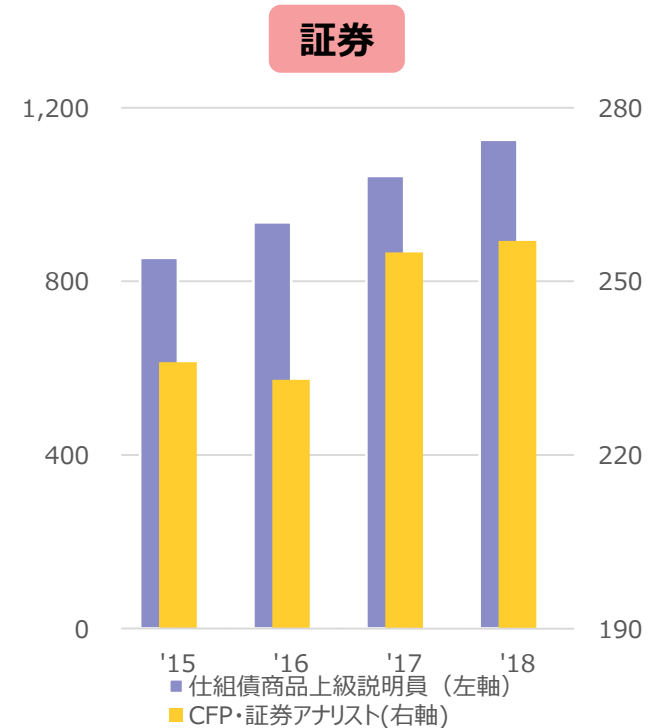
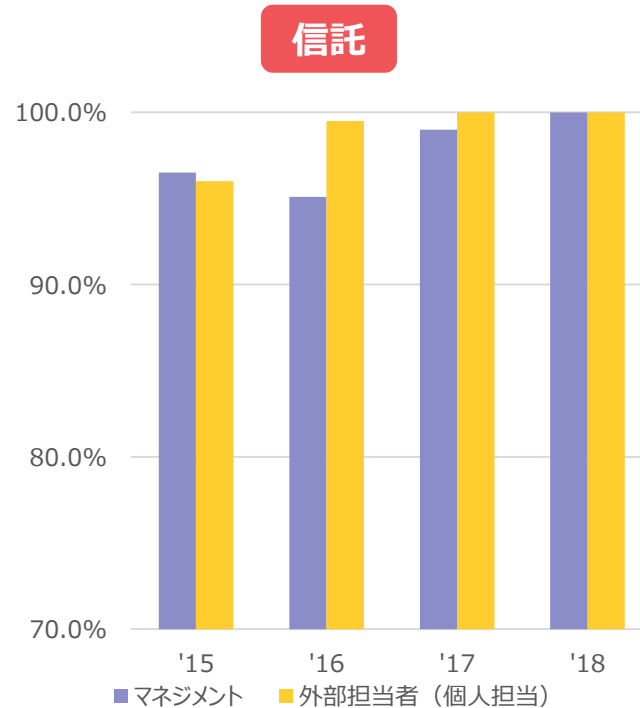
高度化かつ多様化するお客さまのニーズに対応し、お客さまと永い信頼関係を築くため、プロフェッショナル人材の育成および専門性のさらなる向上に継続的に取り組んでまいります。

◆お客さまに最適なお提案ができるよう、コンサルティング力の向上を目指し、FP資格等の取得を進めています。

FP2級資格<sup>49</sup>の取得率



外部資格・社内資格<sup>50</sup>の取得状況 (人)



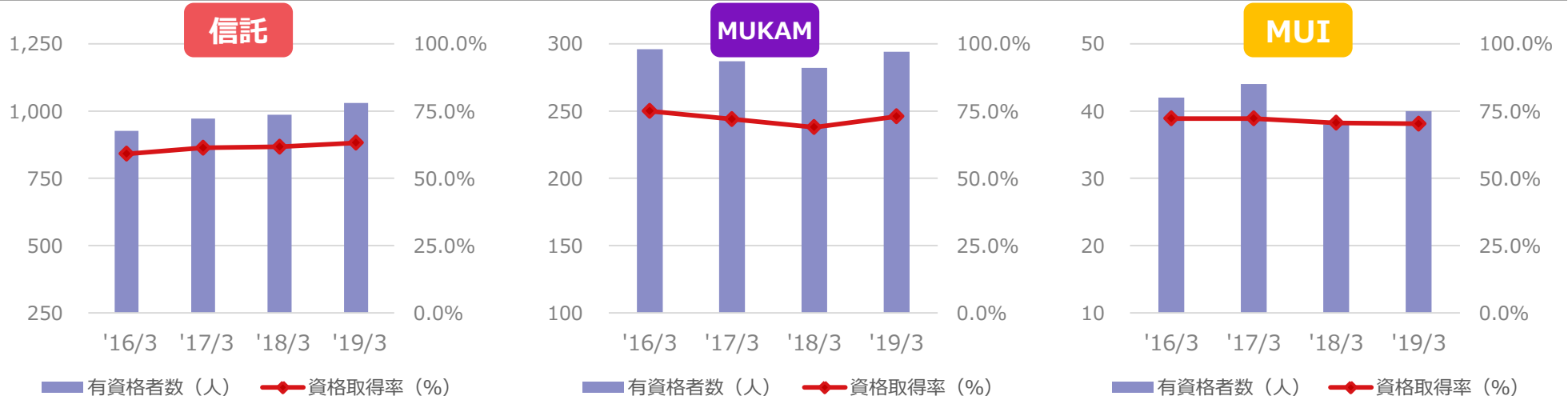
※49.FP2級資格:2級FP技能士・AFP取得

※50.仕組債商品上級説明員:複雑な仕組債等の販売に必要な社内資格

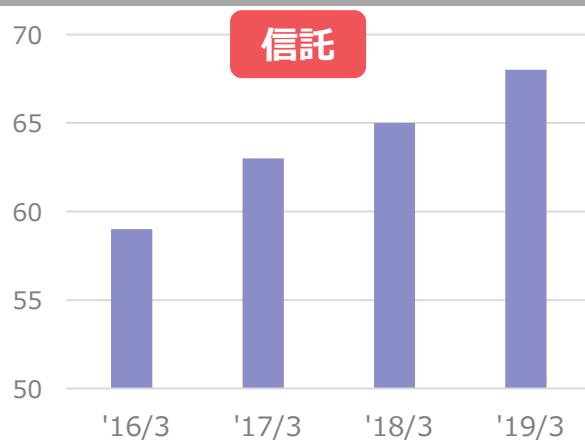


◆金融・資本市場や企業年金の長期財政運営に精通した専門性の高い人材の育成という観点で関連資格の取得を進めております。

証券アナリスト資格保有者数および資格取得率<sup>51</sup>



年金アクチュアリー資格者数 (人)



※当資料におけるMUKAMの「ファンドアワード受賞本数」

・「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

・「リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ ジャパン」の評価の基となるLipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システムの情報に関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipperが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

・Morningstar Awardは過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は、国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、各部門別において総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

※51.証券アナリスト資格取得率は、運用部署における取得割合